

# 事務事業及び予算の執行実績

(令和6年度分「一部、令和7年度分を含む」)

静岡県立磐田西高等学校

1	事務事業の概要	1
2	事務執行の根拠法令調	26
3	学校施設の概要	27
4	在籍生徒調	29
5	入学志願者及び入学者数調	30
6	卒業生の動向調	31
7	生徒の状況	33
8	授業料収納状況調	34
9	歳入予算執行状況調	35
10	県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調	39
11	現金出納調	40
12	預金調	42
13	歳入歳出外現金調	43
14	歳出予算執行状況調	45
15	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	51
16	委託料等歳出予算執行状況節別集計表	51
17	委託料に関する調	52
18	負担金支出調	55
19	建築工事調	57
20	公有財産調	59
21	借地借家等調	60
22	事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	60
23	行政財産貸付・使用許可調	61
24	職員公舎管理状況調	62
25	備品・図書調	63
26	主要備品調	65
27	職員調	66
28	職員の年齢調	68
29	健康管理	69

## 事務事業の概要

### 1 概況

#### (1) 学校の沿革

昭和14年3月	中泉町立中泉商業学校(乙種)設立許可
昭和14年4月	中泉町立中泉商業学校開校
昭和17年4月	静岡県磐田商業学校(甲種)と改称、校章制定
昭和19年4月	静岡県磐田工業学校に転換
昭和21年3月	静岡県磐田工業学校廃止
昭和21年4月	静岡県磐田商業学校に復元
昭和23年4月	県立移管と共に新制高等学校へ移行、静岡県立磐田実業高等学校と改称
昭和24年4月	高等学校再配置により静岡県立磐田北高等学校と改称
昭和27年4月	分離独立により静岡県立磐田商業高等学校と改称
昭和37年4月	生徒定員1学年200人となる。
昭和38年4月	生徒定員1学年350人となる。
昭和47年4月	事務科2学級、経理科3学級、商業英語科2学級を設置 生徒定員1学年315人となる。
昭和54年4月	事務科2学級、経理科4学級、商業英語科1学級に変更
昭和54年10月	創立40周年記念並びに校舎落成記念式典挙行
昭和57年4月	事務科2学級、経理科3学級、商業英語科1学級に変更 生徒定員1学年270人となる。
昭和58年4月	事務科2学級、経理科4学級、商業英語科1学級に変更 生徒定員1学年315人となる。
昭和63年4月	事務科2学級、経理科4学級、商業英語科2学級に変更 生徒定員1学年360人となる。
昭和63年11月	創立50周年記念式典挙行 校訓制定〔道自ら求め自ら拓く〕、校訓碑を建立
平成元年4月	普通科2学級、事務科2学級、経理科4学級に変更
平成2年4月	普通科2学級、経理科4学級、情報処理科2学級に変更
平成3年4月	校名を静岡県立磐田西高等学校と改称
平成4年4月	普通科4学級、経理科3学級、情報処理科2学級に変更 生徒定員1学年405人となる。
平成5年4月	普通科4学級、経理科2学級、情報処理科2学級に変更 生徒定員1学年344人となる。
平成6年4月	生徒定員1学年336人となる。
平成7年4月	普通科5学級、経理科2学級、情報処理科2学級に変更 生徒定員1学年369人となる。
平成8年4月	普通科4学級、経理科2学級、情報処理科2学級に変更 生徒定員1学年320人となる。
平成10年6月	創立60周年記念式典挙行

- 平成11年4月 普通科5学級、経理科2学級、情報処理科2学級に変更  
生徒定員1学年360人となる。
- 平成12年4月 普通科4学級、経理科2学級、情報処理科2学級に変更  
生徒定員1学年320人となる。
- 平成16年4月 普通科4学級、総合ビジネス科3学級に変更  
生徒定員1学年280人となる。
- 平成20年4月 普通科4学級、総合ビジネス科2学級に変更  
生徒定員1学年240人となる。
- 平成21年11月 創立70周年記念式典挙行
- 平成26年4月 普通科5学級、総合ビジネス科2学級に変更  
生徒定員1学年280人となる。
- 平成27年4月 普通科4学級、総合ビジネス科2学級に変更  
生徒定員1学年240人となる。
- 令和元年11月 創立80周年記念式典挙行
- 令和6年4月 普通科3学級、総合ビジネス科2学級に変更  
生徒定員1学年200人となる。



## 2 目指す学校像

普通科と総合ビジネス科を併設する、生徒の多様な進路希望に対応する学校として、地域との連携に基づき、グローバルな視点を取り入れた探究的な学習を通して、広い視野を持った、地域・社会に貢献できる人の育成を目指す。

### (1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>校訓「道 自ら求め 自ら拓く」の精神を基に、向上心を持って自ら学び、主体的に活動ができ、グローバルな視野を持って地域・社会に貢献できる人を育てます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、生涯にわたって学び続ける姿勢を持った人</li> <li>・社会生活で求められる自己管理能力を身に付け、社会環境の変化に柔軟に対応するたくましさを持った人</li> <li>・人権を尊重し他者を思いやる姿勢を身に付け、主体性を持って多様な人々と協働できる人間性を持った人</li> </ul>	<p>多様な進路希望に対応した教科・科目の設定や探究活動の充実を図るとともに、教育用クラウドサービスや ICT 機器等、また各種資格・検定試験等を有効に活用した学習支援を推進し、主体的に学ぶ力を育成します。</p> <p>【総合ビジネス科】</p> <p>学校での学びと実社会のつながりを意識した実践的・体験的な学習活動や、地域行政・産業分野と連携した活動を取り入れるとともに、専門科目の充実を図り、生徒一人一人が設定した目標を達成するためのきめ細かな指導・支援を行います。</p> <p>【普通科】</p> <p>主体的・対話的で深い学びを実現する授業や諸活動を通して生徒の知的好奇心を喚起し、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るとともに、それらを活用して課題に取り組むことにより、思考力・判断力・表現力をさらに向上させる指導・支援を行います。</p>	<p>将来の夢や目標を持ち、高等学校卒業後の進路実現に向けて、自分自身で考え行動できるようになりたい生徒を求めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の授業を大切にし、また各種資格・検定試験等に挑戦することによって、自分の能力を高めたいと思う生徒</li> <li>・学校行事や学級活動、地域活動等に参加し、様々な体験や経験をしたいと思う生徒</li> <li>・自分と他者のよさを大切にし、互いに励まし合い、学校生活において健全な人間関係を築きたいと思う生徒</li> </ul>

### (2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 基本的な生活習慣の確立と高い規範意識の育成により、豊かな人間性を醸成する。
- イ 主体的に学ぶ姿勢の形成を促し、確かな学力と幅広い教養を育成する。
- ウ 普商併設の特色を生かし、地域・社会と連携しながら生徒一人ひとりの自己実現を支援する。
- エ 人権を尊重し、他を思いやる姿勢を土台とした人間関係形成力を育成する。
- オ 家庭や地域等との連携を基盤とした、安心・安全で信頼・応援される学校づくりを行う。
- カ 生徒及び教職員が、生き生きと学校生活を送ることのできる環境を整備する。

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和6年度の取組目標への評価及び成果と課題

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	基本的な生活習慣の確立と高い規範意識の育成により、豊かな人間性を醸成する。	・『あせふこ』の意味と意義を理解し、意識して生活している」生徒90%以上(生1) ・「気持ちの良い挨拶を自分からしている」生徒80%以上(生2) ・「制服(頭髪を含む)を正しく着用している」生徒90%以上(生3)	生1 88.1% ① 91.6% ② 87.4% ③ 86.2% 生2 90.6% ① 89.0% ② 89.9% ③ 92.9% 生3 96.1% ① 96.9% ② 97.0% ③ 94.6%	A	・気持ちの良い挨拶をする生徒は90%超であるが、他人から見ても気持ちの良いあいさつにこだわりたい。 ・挨拶、服装とも、年度当初に比べると徹底できていない生徒もいた。 ・服装、挨拶ともに課題点はあるが、校則の見直しを進める中、生徒だけではなく、教員の意識もアップデートしていきたい。 ・「校歌をしっかりと歌っている」という生徒が80%に至っているとは言えないので継続的に声掛けを行う。
		・日々の学校生活の中で個々の生徒に声を掛けている。(教1) ・「ルールやマナーの意義について考え、主体的に守ることができた」生徒80%以上(生7)	教1 96.9% 生7 97.9% ① 98.9% ② 97.9% ③ 97.0%	A	・継続した指導を必要とする生徒はいるが、自分自身で頭髪服装を正せる生徒の育成や、学習に対する意欲を高める指導が必要。 ・大多数の生徒は守れているが、進路決定後、一部生徒の違反の繰り返しが顕著となった。 ・一部の生徒が何回も注意されている。生徒の自治精神、頭髪服装への誇りを持たせたい。
		・「8:25朝読書開始を守っている」生徒80%以上(生4) ・「チャイムと同時に授業開始の準備ができています」生徒90%以上(生5)	生4 95.4% ① 95.8% ② 93.2% ③ 97.1%	A	・8:25朝読書開始生徒は95.4%落ち着いて行うことができている。 ・ほぼすべての生徒がチャイム前に確実に準備を済ませ、授業を始めることができた。 ・さらに適切な行動(登校)

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「次の予定と時間を意識した行動をしている」生徒 80%以上(生6)</li> </ul>	生5 8.5% ① 97.9% ② 98.7% ③ 98.8% 生6 96.6% ① 96.4% ② 96.2% ③ 97.1%		の励行、就職者・推薦の合格者には進路決定後や卒業まで模範的生活を送らせる指導が必要。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃点検の実施年 20回</li> <li>・部活動一斉清掃の実施 年4回</li> </ul>	部活動一斉清掃は4回実施(含:校内清掃・2月末実施)	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃点検は10回未満にとどまり、場所や担当者によって清掃にむらが出てしまった。実施と点検の両方を大事にし、生徒が主体的に環境を整えられるようにしたい。</li> </ul>
イ	生徒が主体的に学ぶ姿勢の形成を促し、確かな学力と幅広い教養を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「他教員の授業を見学し、自らの授業改善を行った」教員 80%以上(教2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業参観週間を2回実施。校内研修として数学、地歴科の研究授業実施。</li> <li>・中学生一日体験授業及び公開授業を実施(2回)</li> </ul> 教2 68.8%	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研究授業(地歴、数学)は多数の教員が参観。</li> <li>・相互参観によりクロムブックの活用方法やグループワークなど他教科を参考にし、自身の授業に活かすことができた。</li> <li>・中学生1日体験入学(8/6) 中学生739名参加 保護者268名参観</li> <li>・公開授業(10/26) 中学生250名、保護者96名参観</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ICTを活用する授業を行っている」教員 80%以上(教3)</li> <li>・「情報セキュリティを意識しながら学習支援ツールや教育用クラウドサービス等を活用した」教員 80%以上(教4)</li> </ul>	教3 71.9% 教4 84.4% 教務課が測定ツールを使い学校教育活動診断を実施。 年2回各授業担当がICTを使い授業アンケートを実施。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業は分かりやすい」生徒は、86.8%(昨年度は77.4%)、「板書・プロジェクター表示が見やすい」生徒は82.8%であった。</li> <li>・クロムブックを効果的に活用できた場面もあったが、さらに検討の余地がある。</li> <li>・今後も端末の活用、生徒が主体的に取り組める授業づく</li> </ul>

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
			スタディサプリ等による学習資料や課題の配布。		りを研究する。
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「生徒による主体的な活動や生徒同士の対話のある授業・諸活動を行っている」教員 70%以上 (教5)</li> </ul>	教5 84.4%	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>観点別評価のデータの提供はできたが、評価方法については今後も模索していく。</li> <li>今後も ICT の活用を通して「協働的な学び」が深められるよう研究を行っていく。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「平日1時間、休日2時間以上の自主学習ができている」生徒 40%以上 (生13)</li> <li>「スタディサプリ等を活用して学習している」生徒 70%以上 (生14)</li> </ul>	生13 38.1% ① 27.7% ② 32.0% ③ 52.5% 生14 31.9% ① 23.6% ② 40.5% ③ 29.8%	C	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒全体の1日あたりの学習時間は92分であり、昨年度(97分)から減少。テスト前の学習が主であり、日々の学習の改善が必要。</li> <li>「平日1時間・休日2時間」と答えた生徒(3年生)は52.5%であった。大学受験生は一日4時間勉強したいところ。</li> <li>スタディサプリを活用して学習している生徒は全校で31.9%。授業等での活用や参考動画の紹介など、積極的な働きかけが必要。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>「測定ツールやアンケートを活用して学習習慣等の改善に対する助言を行った」教員 70%以上 (教6)</li> <li>「学校の教育活動で、生徒は『学ぶ姿勢』が身に付いている」保護者 80%以上 (保4)</li> </ul>	教6 75.0%  保4 84.5% ① 80.3% ② 82.9% ③ 90.3%	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業アンケートを、年2回、実施した。8割以上の生徒が授業内容に対して肯定的な回答をしている。</li> </ul>

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ウ	<p>普商併設の特色を生かし、地域・社会と連携しながら、生徒の多様な学習ニーズや進路希望に対応し、自己実現を支援する。</p>	<p>「学校からの進路情報や進路指導は適切である」生徒 90%以上(生 17)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校の進路指導は適切であり、三者面談等は満足の内容である」保護者 80%以上(保 9)</li> </ul>	<p>生 17 92.8%</p> <p>① 94.7%</p> <p>② 92.4%</p> <p>③ 91.6%</p> <p>保 9 82.8%</p> <p>① 77.3%</p> <p>② 80.1%</p> <p>③ 91.4%</p>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校からの進路情報や進路指導は適切である」と回答した生徒は 92.8% (昨年度 90.2%)。学年間に差はなく、適切な情報提供や進路指導が行われたと考えられる。</li> <li>・「学校からの進路に関する情報提供や進路指導は適切である」と回答した保護者の割合は、82.8% (昨年度 83.6%)。進路に関する様々な情報やイベントの案内を積極的に配信したことで、進路を主体的に考え、調べたり、参加したりする生徒が増加した。</li> <li>・進学補習や面接指導は効果的であった。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「『双翼タイム』は、自己の在り方生き方を考えながら、課題を発見し、解決する力の向上に役立っている」生徒 70%以上(生 16)</li> </ul>	<p>生 16 76.2%</p> <p>① 86.9%</p> <p>② 74.7%</p> <p>③ 68.9%</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京研修等を通して、地域の理解、進路意識が高まった生徒は 99%であった。総探の探究テーマと東京研修の目的等の整合性が課題である。</li> <li>・教員の計画の作成や実施、生徒の学習は活発に行われていたが、進路につなげるという視点を深めたい。</li> <li>・3年生の総探は、1年次からの将来を見据えたメニュー作りが求められる。SDGsに限らない方が自由に発想できるのではないか。</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「個人で、または部活動や委員会活動を通して、地域行事やボランティア活動、国内・海外研修</li> </ul>	<p>生 19 50.5%</p> <p>① 9.2%</p> <p>② 46.9%</p> <p>③ 5.0%</p>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「児童への読み聞かせ」は、全校から希望者を募った。異年齢と交流する機会が少ない生徒にとって、貴重な体験となった(充実度 93%</li> </ul>

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
		等に年1回以上参加した」生徒60%以上(生19)			)。小学校との日程調整が難しい。 ・文化部や一部授業では、地域の団体等に積極的に協力している。
		・「図書館を通じた読書活動の推進が活発に行われている」生徒60%以上(生28) ・「年間7冊以上の本を読む」生徒70%以上(生27)	生28 45.0% ① 41.4% ② 42.6% ③ 50.4% 生27 51.5% ① 58.6% ② 49.3% ③ 47.9%	B	・読書する環境は提供できている。年間読書量は減少(年間4.8冊・17.1%)しているため、図書館利用者を増やすための企画なども検討する。 ・読書会では、日常では見られない生徒の一面を見ることができた。実施は1回だったが、絵本のPOP作成など代替活動を実施できた。
		・「進学補習を活用した学習や資格・検定試験に挑戦した」生徒50%以上(生15)	生15 50.5% ① 42.4% ② 50.2% ③ 57.1%	B	・学年が進むにつれて意欲の高まりが見られる。 ・商業の資格の基本的な級では100%近くの合格率であった。上位級も多数の合格が期待できる。
エ	人権を尊重し、多様な価値観を認め、互いに支え合う姿勢を土台とした人現関係形成力を育成する。	・いじめ等に関する指導案件なし ・「人権や情報モラルに関する講座や授業を通して、人権意識が向上した」生徒80%以上(生22)	・人間関係にまつわる事案に対しても丁寧に対応した 生22 91.4% ① 94.3% ② 92.8% ③ 87.8%	B	・適切な初期対応やトラブルの予防ができた。 ・自己決定の場の提供や安全・安心な風土の醸成により、自己存在感の感受、共感的な人間形成の育成をさらに実践していく。 ・生徒の人権意識は講座や授業を通して向上している。
		・相互に円滑なコミュニケーションを図ろうとする姿勢・雰囲気がある。(生25)	生25 90.5% ① 86.4% ② 93.2% ③ 91.2%	A	・自分から友人に声を掛けたり、困っている友人を率先して手助けしようとする姿勢が見られる。
		・「先生方は私の良いところを認め、意欲や向上心が高まる	生25 90.5% ① 86.4% ② 93.2%	B	・多くの生徒は「先生方からの前向きな言葉かけ」を感じている。

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
		言葉をかけてくれる」生徒 90%以上 (生 25)	③ 91.2%		・朝の登校指導中の声掛けに反応する生徒も多い。
		・「学校生活の悩みについて、先生方やスクールカウンセラーに相談できる」生徒 70%以上(生 24) ・「先生は保護者からの連絡・悩み・相談したいことについて、適切に対応してくれる」保護者 85%以上(保 20)	生 24 91.7% ① 87.4% ② 95.4% ③ 91.6%  保 20 85.8% ① 80.3% ② 86.3% ③ 90.8%	A	・「学校生活の悩みについて、・・・相談できる」とした生徒は、2、3年生は90%を超えたが、1年生は87.4%であった。この結果をもとに、現1年生に対する細やかな対応が可能となるよう準備する。
オ	家庭や地域等との連携を基盤とした、安心・安全で信頼・応援される学校づくりを行う。	・学校・学年行事、学習活動、課外活動等について、週1回以上のホームページの更新を行っている。	週1回以上、ホームページの更新を行った。	A	今年度から新たな様式となったが、スムーズに移行することができた。職員が記事を掲載できるようサポートした。週1回の更新も行った。
		教育用クラウドサービスやきずなネットを最大限活用し、効率よく効果的な情報提供を行っている。 (教7)	保護者への連絡手段や配布物の電子化を行った。	A	・校内で全体的に、きずなネット、スタディサプリを使用し、配布物を電子化した。 ・生徒向けの配布物（修学旅行・東京研修のしおり等）はデジタルで配信した。
		・地域防災訓練参加生徒及び教職員 70%以上(生 20) ・「災害時に対応できる」生徒 75%以上 ・「交通ルールを遵守している」生徒 90%以上(生 21) ・「健康に関する講座を通して意識が向	生 20 82.8% ① 81.1% ② 83.1% ③ 83.6% 生 21 96.0% ① 97.4% ② 97.5% ③ 93.7% 生 23 94.7% ① 96.3% ② 97.0%	A	・地域防災訓練は、事前に周知した成果、70%参加を達成できた。 ・校内の防災訓練では、生徒の行動は迅速であったが、対応力を身に付けさせる取組が必要である。 ・交通ルールを意識して遵守している生徒は 96.0%。登下時に立合指導を行った。事故の防止、自転車の施錠等、引

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
		上した」生徒 80%以上 (生 23)	③ 91.2%		き続き重大案件が起きないように注意する。 ・健康への意識が向上した生徒は、全体で94.7%。意識の向上だけでなく、日常の行動が変わり、学んだことを実生活に生かせるようにさせたい。
		・教職員の事故及び不祥事なし。	・不祥事なし。 ・コンプライアンス、危機管理に関する研修を実施。 ・各部署において、予算等の適正な執行と会計報告を実施。	A	・教職員は日々の声掛けや事案の情報を共有により、自己意識を向上させている。 ・話し合いによる校内研修会等も実施し、自分のこととして考えるようにした。
		・監査等において指示、指摘事項なし。		A	・予算執行には丁寧に対応し、担当職員の適切な対応により執行及び会計報告を行った。
カ	生徒及び教職員が、生き生きと学校生活を送り、学び続ける意欲を持つことのできる環境を整備する。	・「本校での学校生活に満足している」生徒・保護者 90%以上 (生 30) (保 26) ・「学校行事、ホームルーム活動、生徒会活動、部活動のいずれかにおいて積極的に活動できた」生徒 80%以上 (生 18)	生 30 93.8% ① 95.2% ② 92.8% ③ 93.7% 保 26 94.5% ① 95.2% ② 93.9% ③ 94.8% 生 18 96.8% ① 95.8% ② 97.0% ③ 97.4%	A	・各行事のアンケート結果から生徒の満足度は高かったと判断できる。生徒会も積極的に関わることで、行事に対する意識が向上した。 ・引き続き仲間を大切に協力し合える雰囲気づくりに努める。 ・継続的な取り組みが結実し、生徒にとって誇れる母校となつてほしい。 ・3年生は高校生活最後の行事となるため、積極的に取り組めた。 ・文化祭を総合探究とリンクさせ、学習の過程や成果の発表の場や地域との連携の場にするとうい。
		・施設・設備、備品・消耗品が適切に	・各部署において備品・消耗品	A	・毎月校内巡視を行うことができた。不具合箇所の修繕

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
		利用されている。 ・月例点検・管理職点検が行われている	等の整備・点検を随時実施。 ・修繕等が必要な場合は速やかに対応した。		は、適切に年度末まで対応を続ける。
		・「校内および校外での研修や自己研鑽に積極的に取り組んだ」教職員 90%以上(教8)	教8 71.9%	B	・「校内および校外での研修や自己研鑽に積極的に取り組んだ」と答えた教職員は71.9%。 ・校内の研修だけでなく、校外の研修も業務に支障がない範囲で積極的に参加していた。 ・総合的な探究の時間の視察等も試みる。
		・分掌の業務を「無くす」「減らす」「変える」の視点で見直す機会を年2回以上設ける。(教9) ・「業務の負担感・多忙感が改善された」教職員 50%。(教10)	教9 56.3%  教10 20.0%	C	・業務を「無くす」「減らす」「変える」と見直した教職員は56.3%、「負担感・多忙感が改善された」と答えた教職員が20.0%であった。 ・業務の見直しや簡略化した結果、個人の負担に偏りが見られたグループもあった。適切な業務分担が必要である。 ・事務室では、全員が1件の提案ができた。提案の実現についても進めている。
		・「おおむね週1回は定時に退勤できた」教職員 80%以上(教11) ・業務の繁忙期であっても、20:00前に退勤する。(教12)	教11 59.4%  教12 90.6%	B	・「おおむね週1回は定時に退勤できた」と答えた教職員は59.4%。 ・教職員は退勤時刻を早めるよう努めているが、生徒指導・生徒相談など丁寧な対応が必要な案件が多いと実現が難しい。

(2) 令和7年度の取組目標・達成方法・成果目標

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア	基本的な生活習慣の確立と高い規範意識の育成により、豊かな人間性を醸成する。	行動指針「あせふこ+（プラス）」（挨拶・清掃・服装・校歌+コミュニケーション）への理解と実践を促す。	・『あせふこ+（プラス）』の意味と意義を理解し、意識して生活している」生徒90%以上 ※「気持ちの良い挨拶を自分からしている」生徒80%以上 ※「制服（頭髪を含む）を正しく着用している」生徒90%以上	全校
		日々の教育活動を通じて、学校生活・社会生活におけるルールやマナーを順守させる。	・日々の学校生活の中で個々の生徒に声を掛けている。 ・「ルールやマナーの意義について考え、主体的に守ることができた」生徒90%以上	生徒課 学年部
		予定と時間を意識した行動を促す。	・「8:25 朝読書を開始している」生徒90%以上 「チャイムと同時に授業開始の準備ができている」生徒90%以上 ・「次の予定と時間を意識した行動をしている」生徒90%以上	教務課 学年部
		学習・活動環境の整理整頓と清潔を保つ。	・美化委員会・保健委員会による週末清掃点検の実施	保健課 生徒課
イ	生徒が主体的に学ぶ姿勢の形成を促し、確かな学力と幅広い教養を育成する。	教員相互による授業見学や教科会議での意見・情報交換を通じて、自らの授業改善に積極的に取り組む。	・「他教員の授業を見学し、自らの授業改善を行った」教員80%以上	進路課 学年部 各教科
		情報セキュリティに対する意識を高めながら、学習活動の目的に応じて学習支援ツールや教育用クラウドサービス、個人端末等のICT機器を積極的に活用する。	・「ICTを活用する授業を行っている」教員80%以上 ・「情報セキュリティを意識しながら学習支援ツールや教育用クラウドサービス等を活用した」教員80%以上	教務課 情報管理課 教務課
		理解の質を高め、思考力・判断力・表現力を向上するために、生徒による主体的な活動や生徒同士の対話等を教育活動に取り入れる。	・「生徒による主体的な活動や生徒同士の対話等のある授業・諸活動を行っている」教員70%以上	学年部 各教科

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
		授業での学習内容と関連した適切な課題を設定し、家庭学習習慣の定着を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「平日 1 時間、休日 2 時間以上の自主学習ができている」生徒 40%以上</li> <li>・「オンライン学習サービス等を利用して学習している」生徒 70%以上</li> </ul>	教務課 進路課 各教科
		測定ツールや学習時間調査、授業アンケート等を授業改善に活用し、生徒の学習習慣等の改善に対する助言を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「測定ツールやアンケートを活用して学習習慣等の改善に対する助言を行った」教員 70%以上</li> <li>・「学校の教育活動で、生徒は『学ぶ姿勢』が身に付いている」保護者 80%以上</li> </ul>	教務課 進路課 各教科
ウ	普商併設の特色を生かし、地域・社会と連携しながら、生徒の多様な学習ニーズや進路希望に対応し、自己実現を支援する。	生徒が多様な進路を知るとともに、自身の興味・関心を深め、職業観を身に付けることができるよう、進路行事等の運営を工夫する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学校からの進路情報や進路指導は適切である」生徒 90%以上</li> <li>・「学校の進路指導は適切であり、三者面談等は満足 of いく内容である」保護者 80%以上</li> </ul>	進路課 学年部
		双翼タイム（「総合的な探究の時間」）において生徒が自ら課題を設定し、地域や外部機関等と関わりながらその「解決に取り組む活動を推進する。	・『双翼タイム』は、自己の在り方生き方を考えながら、課題を発見し、解決する力の向上に役立っている」生徒 70%以上	双翼タイム 進路課 委員会 学年部
		学校外で生徒が参加できる活動等の情報を積極的に発信し、大学や他の学校、地域・社会・世界と関わる活動への参加を促す。	・「個人で、または部活動や委員会活動を通して、地域行事やボランティア活動、国内・海外研修等に年 1 回以上参加した」生徒 60%以上	生徒課 図書課 総ビ科 学年部
		学びの場として魅力ある図書館づくりと朝読書を中心とした読書習慣の形成により読書活動の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「図書館を通じた読書活動の推進が活発に行われている」生徒 60%以上</li> <li>・「年間 7 冊以上の本を読む」生徒 70%以上</li> </ul>	図書課
		進学補習の充実を図るとともに、社会的に評価される各種資格・検定試験等への積極的な挑戦を促す。	「進学補習を活用した学習や資格・検定試験に挑戦した」生徒 50%以上	総ビ科 各教科

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
エ	人権を尊重し、多様な価値観を認め、互いに支え合う姿勢を土台とした人間関係形成力を育成する。	人権や情報モラルに関する講座や授業を通して、人権意識の高揚を図る。	・いじめ等に関する指導案件なし ・「人権や情報モラルに関する講座や授業を通して、人権意識が向上した」生徒 80%以上	教務課 情報管理課
		教職員も生徒も、相手の話を傾聴し、時と場に応じた丁寧な言葉で話しながら相互の理解に努める。	相互に円滑なコミュニケーションを図ろうとする姿勢・雰囲気がある。	全校
		「認める・励ます」を基本とした、自己肯定感を育む生徒・教職員の関係をつくる。	・「先生方は私の良いところを認め、意欲や向上心が高まる言葉をかけてくれる」生徒 90%以上	全教職員
		面接週間や相談室、SC、支援アンケート等の活用により、適切なケアを行うとともに、必要な情報を教職員で共有し、個々の生徒に最適な支援を行う。	・「学校生活の悩みについて、先生方やスクールカウンセラーに相談できる」生徒 70%以上 ・「先生は保護者からの連絡・悩み・相談したいことについて、適切に対応してくれる」保護者 85%以上	保健課 全校
オ	家庭や地域等との連携を基盤とした、安心・安全で信頼・応援される学校づくりを行う。	授業や学校・学年行事、部活動等の様子をホームページ等で積極的に広報し、学校に対する地域の理解を深める。	・学校・学年行事、学習活動、課外活動等について、週1回以上のホームページの更新を行っている。	情報管理課 学年部 各教科 各部活動
		生徒向け、保護者向けの各種たよりのデジタル配信を推進し、ペーパーレス化を図る。	・教育用クラウドサービスやきずなネットを最大限活用し、効率よく効果的な情報提供を行っている。	情報管理課 全校
		防災・交通安全・健康に関する講座や活動の実施により、命を守り、健康を増進する意識を向上させる。	・地域防災訓練参加生徒及び教職員 70%以上 ・「災害時に対応できる」生徒 75%以上 ・「交通ルールを遵守している」生徒 90%以上 ・「健康に関する講座を通して意識が向上した」生徒 80%以上	総務課 生徒課 保健課
		コンプライアンスに関する月例研修や日常的な相互の声掛けにより、教職員が危機管理意識を向上する。	・教職員の事故及び不祥事なし。 ・監査等において指示、指摘事項なし。	管理職 全教職員

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
		学年・分掌・部活動等の各部署において、学校経営予算等の適正な執行及び会計報告を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の事故及び不祥事なし。</li> <li>・監査等において指示、指摘事項なし。</li> </ul>	事務部 全教職員
カ	生徒及び教職員が、生き生きと学校生活を送り、学び続ける意欲を持つことのできる環境を整備する。	学校行事、ホームルーム活動、生徒会活動、部活動等において、生徒が主体的に活動できるよう教職員が伴走者としてサポートする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「本校での学校生活に満足している」生徒・保護者 90%以上</li> <li>・「学校行事、ホームルーム活動、生徒会活動、部活動のいずれかにおいて積極的に活動できた」生徒 80%以上</li> </ul>	全校
		校内施設・設備、備品・消耗品等の整備・点検を定期的に行い、修繕等の対応を迅速に行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備、備品・消耗品が適切に利用されている。</li> <li>・例月点検・管理職点検が行われている。</li> </ul>	事務部
		各分掌の主催による教職員研修やキャリアステージに応じた主体的な自己研鑽を通じて、一人一人の教職員が自らの資質能力を向上させる。	・「校内および校外での研修や自己研鑽に積極的に取り組んだ」教職員 90%以上	全教職員
		業務の平準化に取り組むとともに、分掌の業務を「無くす」「減らす」「変える」の視点で見直し、負担感・多忙感の改善に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分掌の業務を「無くす」「減らす」「変える」の視点で見直す機会を年2回以上設ける。</li> <li>・「業務の負担感・多忙感が改善された」教職員 50%</li> </ul>	全教職員
		生徒完全下校時刻 19:30 を守らせるとともに、教職員は効率的な業務遂行に努め、週1回の割合での定時退勤に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おおむね週1回は定時に退勤できた」教職員 80%以上</li> <li>・業務の繁忙期であっても、20:00前に退勤する。</li> </ul>	全教職員

4 監査対象期間における特色ある取組

年 度	取 組 概 要	成 果 及 び 課 題
令和 6 年度	<p>生徒一人ひとりに行動指針「あせふこ」の理解と実践を促す。</p> <p>来場者の安全と安心も考慮したうえで、文化祭などの行事を実施し、生徒の活動の成果が発揮できる場を創出していく。地域・社会に貢献する態度を醸成し、人権意識の高揚を図る。</p> <p>更なる授業改善を心がけ、ICT 機器（学習支援ツール・教育用クラウドサービス・個人端末等）を活用し、新学習指導要領に沿った教育活動を行う。また、生徒の成長のために、目標に準拠した観点別学習状況の評価について確認し、目標の達成状況を把握したり、指導と評価の計画を見直したりする。さらに、年2回の公開授業週間での教員相互の授業参観を実施する。</p> <p>進学補習、国公立大学希望者、看護系希望者の指導、公務員講座の開講のほか、オンライン学習も活用してさらに学習をサポートする。</p> <p>情報管理課を中心に ICT 機器（学習支援ツール・教育用クラウドサービス・個人端末など）を活用できる環境を整備する。さらに学校の広報活動の充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の学校生活の中で生徒が自分から気持ちのよい挨拶ができるように、また制服（頭髪を含む）を正しく着用することに誇りを持てるよう取り組んだ。部活動一斉清掃のほか、生徒による清掃点検、授業開始時の服装指導や定期的な学年指導により、規範意識を育てた。</li> <li>・文化祭は感染症対策を行った上で通常どおり実施した。学校行事、生徒会活動に生徒会が積極的に関わるようにしたことで、主体的に関わろうとする生徒の意識が向上した。</li> <li>・授業や部活動において市や地域の団体と積極的に連携した。また、スタディサプリ等を効果的に活用し、生徒にボランティア活動への参加を促すことで、地域社会に貢献する態度を育成した。</li> <li>・学校全体で ICT 機器（学習支援ツール・教育用クラウドサービス・個人端末等）を効果的に活用した分かりやすい授業を推進した。</li> <li>・生徒による主体的な活動や、生徒同士の対話を取り入れた授業に取り組み、学習意欲の向上や協働的な学びを促進できた。観点別評価の評価方法については、今後も検討を続ける。</li> <li>・公開授業週間を年2回設定し、教員相互の授業参観を行う等して、授業改善に努めた。</li> <li>・進学補習や資格・検定試験に関する取組を継続した結果、学年が進むにつれて生徒の参加意欲が高まり、成果に結び付いている。</li> <li>・スタディサプリを使って、進路情報やオンライン学習の課題の配信を積極的に行った。</li> <li>・「主体的に学ぶ生徒」の育成を目指し、学習習慣を身に付けさせるために、スケジュール帳を生徒に持たせ時間管理できるよう指導した。</li> <li>・進路希望が多岐にわたり、職員の業務は多忙化・煩雑化してきている。今後、教職員の人数にも限り</li> </ul>

年 度	取 組 概 要	成 果 及 び 課 題
	<p>課題を抱える生徒に最適な支援を行う。</p>	<p>があり、業務の見直し、適切な業務分担の実現が求められている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度から学校ホームページが新たな様式となったがスムーズに移行することができた。週1回以上の更新を行う等、情報発信を強化することで学校の魅力を保護者や地域等に理解していただくように努めた。</li> <li>・面接週間や相談室の活用に加え、スクールカウンセラーの面接、生徒支援アンケートを実施し、課題を抱える生徒を的確に把握し、適切な支援ができるように取り組んだ。</li> </ul>
<p>令和7年度</p>	<p>行動指針「あせふこ+」（挨拶・清掃・服装・校歌・コミュニケーション）の理解と実践を促し、規範意識の向上を図る。</p> <p>地域・社会に貢献する態度を育成するとともに、人権意識を高める取組を推進する。</p> <p>文化祭などの学校行事、ホームルーム活動、生徒会活動、部活動等において、生徒の主体的な活動を重視し、教職員は伴走者として支援する。</p> <p>ICT 機器（学習支援ツール・教育用クラウドサービス・個人端末等）を積極的に活用し、更なる授業改善を進める。</p> <p>新学習指導要領に基づき、生徒の主体的な学びや協働的な対話を取り入れた授業改善や探究活動の充実に取り組む。</p> <p>教員相互の授業見学や教科会議における意見・情報交換を通じて、授業改善に組織的に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々の学校生活において、自発的な挨拶や制服（頭髪を含む）の正しい着用を指導し、誇りを持って行動できる生徒の育成に取り組んでいるが、継続的な意識づけが必要である。</li> <li>・授業や委員会・部活動において、市や地域の団体と連携した活動に積極的に取り組んでいる。</li> <li>・スタディサプリ等も活用しながら、生徒に地域行事やボランティア活動、国内・海外研修等への参加を促している。</li> <li>・学校行事、ホームルーム活動、生徒会活動、部活動等への主体的な参加を促し、多様な体験を通して生徒の主体性を培っている。</li> <li>・今年度から全学年に「ロイロノート・スクール」を導入するなど、学校全体で ICT 機器（学習支援ツール・教育用クラウドサービス・個人端末等）を効果的に活用した、分かりやすい授業を推進している。</li> <li>・観点別評価の方法について、校内研修会・教科会議・成績会議等を通じて、透明性・整合性の高い評価の在り方を検討している。</li> <li>・年2回の公開授業週間や授業アンケートを実施し、それらを活用して授業改善に取り組んでいる。</li> </ul>

年 度	取 組 概 要	成 果 及 び 課 題
	<p>生徒一人ひとりの進路実現を目指し、進路行事の運営・進路情報の提供・個別進路指導等を工夫する。</p> <p>進学補習を充実させるとともに、資格・検定試験への積極的な挑戦を促す。</p> <p>授業内容と関連づけた適切な課題を設定し、家庭学習習慣の定着を図る。</p> <p>情報管理課を中心に、授業や家庭学習等で ICT 機器（学習支援ツール・教育用クラウドサービス・個人端末等）を活用できる環境を整備する。</p> <p>生徒・保護者を対象とした情報提供のデジタル化を推進する。</p> <p>授業・学校行事・学年行事・部活動等の様子を、ホームページ等で積極的に広報する。</p> <p>課題を抱える生徒に最適な支援を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担任・学年・進路課担当者が連携し、スタディサプリ等も活用しながら、生徒・保護者等に対して適切な進路指導・進路情報の提供を行っている。</li> <li>・進学補習、到達度テストとそれに連動した課題指導、各種模擬試験の活用を通じて、生徒一人ひとりの学力向上に取り組んでいる。</li> <li>・情報管理課を中心に、授業や家庭学習等で ICT 機器（学習支援ツール・教育用クラウドサービス・個人端末等）を活用できるよう、環境及び支援体制を整備した。</li> <li>・スタディサプリやきずなネットを活用し、生徒・保護者向けの各種たよりをデジタル配信することで、情報提供の効率化を図っている。</li> <li>・授業・学校行事・学年行事・部活動等の様子をホームページで積極的に発信するとともに、新たにインスタグラムを活用した広報を開始した。</li> <li>・面接週間や相談室、スクールカウンセラー、生徒支援アンケート等を活用し、生徒一人一人に対して適切なケアを行っている。</li> </ul>

5 教職員について

(1) 令和6年度異動状況

(単位：人)

職名 区分	本 務 職 員									臨時的・任期付任用職員					合 計
	校 長	副 校 長	教 頭	教 諭	事 務 長	主 査	技 能 長	主 任 技 能 員	小 計	臨 時 的 任 用 職 員	非 常 勤 講 師	部 活 動 指 導 員	非 常 勤 勞 務 職 員	小 計	
転出者		1		5	1	1		1	9					0	9
再任用 (転出)									0					0	0
退職者				2					2	1	4	1	2	8	10
再任用 (退職)				4					4					0	4
転入者		1		3	1	1	1		7					0	7
再任用 (転入)				4					4					0	4
新任者				1					1		7	1	2	10	11
差引増減		0		△3	0	0	1	△1	△3	△1	3	0	0	2	△1

(2) 現員数

(単位：人)

職名 区分	本 務 職 員												臨時的・任期付任用職員							合 計
	校 長	副 校 長	教 頭	教 諭	実 習 教 諭	養 護 教 諭	主 任 実 習 助 手	実 習 助 手	事 務 長	主 査	主 事	技 能 長	小 計	外 国 語 指 導 講 師	非 常 勤 講 師	部 活 動 指 導 員	非 常 勤 勞 務 職 員	学 校 医 等	小 計	
現員数	1	1	1	39	1	1	1	1	1	2	1	1	51	1	7	1	2	5	16	67

(3) 健康管理について

令和6年度における取組は以下のとおりである。

ア 教職員の健康管理

- ・健康診断（結核検診・生活習慣病検診・指定年齢検診・人間ドック）を実施し、疾病の早期発見と健康保持に努めた。

イ メンタルヘルス対策

- ・県教育委員会の「健康相談窓口」等を積極的に周知し、教職員が相談しやすい環境を整えた。
- ・常に教職員の心身の健康管理に留意し、必要に応じて管理職から声かけを行った。

ウ 職員衛生委員会の活動

- ・月1回開催し、健康管理医の指導のもと、職場の安全衛生管理体制の充実を図った。
- ・定期的に教職員の休憩室や職員室の冷蔵庫の清掃、校内の安全点検（高所積載・床配線の確認等）を行い、破損箇所については修繕を実施した。

- ・時間外勤務超過者の健康状態の把握などを行い、その縮減に向けた取組を協議した。

エ 勤務時間の適正化

- ・時間外在校等時間の削減に向け、管理職が教職員への周知・指導等を行い、業務量の適正管理に努めた。

オ 職場の健康づくり支援事業

- ・12月に「発酵食のある暮らし」をテーマとした健康講座を予定していたが、当日、講師が病欠となったため、中止した。

カ その他の取組

- ・業務効率化の推進、安全性の確保等の観点から、職場環境の改善について継続検討を行った。
- ・交通安全意識の啓発を図り、不慮の事故の発生による怪我等の防止に努めた。

(4) 教職員の研修について

(令和6年度)

目 的	研修内容と取組 (成果)
心肺蘇生法、AED、エピペン使用に関する知識技術の習得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初に体育科教諭及び養護教諭による緊急対応（熱中症、心停止、食物アレルギー）の助言指導を行った。</li> <li>※アクションカードを使った研修（全6班：各班6～8人）を実施し、練習用人形を使用して知識・技術を習得した。</li> </ul>
令和6年度以降の文書事務・教職員間連絡について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き方改革の取組として、事務の効率化およびコスト削減を目的に、令和6年度から全県立学校において文書受付事務等に関する標準ルールが示されたことを確認した。</li> </ul>
不祥事根絶研修	<p>不祥事根絶に向けて、教職員の意識啓発と行動改善を図るため、次のような研修・取組を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 コンプライアンス研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報セキュリティ研修（情報管理課による）</li> <li>・教職員の生徒指導に係る共通ルールの確認</li> <li>・体罰、ハラスメント防止研修</li> <li>・コンプライアンス関連動画の視聴および職員への伝達</li> </ul> </li> <li>2 人権教育研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（抜粋）」の確認</li> <li>・人権教育伝達研修</li> </ul> </li> <li>3 会計・物品事務の適正化研修 <ul style="list-style-type: none"> <li>・会計及び物品事務に係る職場リレー研修（不適正な会計処理防止）</li> <li>・「教職員のための財務会計入門」に基づく実務研修</li> </ul> </li> </ol>
学校経営計画の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度の学校経営計画を作成するにあたり、1月7日の職員会議後に研修を企画した。本校の現状と課題を共有した上で、本校の目指す</li> </ul>

目 的	研修内容と取組（成果）
授業改善 効果的な ICT 機器の活用	<p>（育成する）生徒像についてグループワークを実施した。11月に生徒及び保護者に実施した学校経営診断アンケートの結果と照らし合わせて、令和7年度に本校の目指す教育の方向性について全職員で共通認識を持つことができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年2回の公開授業週間を設定し、10月25日は保護者対象、10月26日は中学生対象の公開授業を実施した。年2回実施の授業評価アンケートと併せて、授業改善に活用した。</li> <li>・9月18日の校内研修会は、静岡県総合教育センター指導主事を講師に迎え、「効果的な ICT 活用による授業改善」をテーマに実施し、教員の授業力向上を推進した。</li> <li>・令和7年度からロイロノート・スクールを全学年で導入することを決定し、教職員を対象にしたロイロノート・スクール活用研修を実施した。</li> </ul>

（令和7年度）

目 的	研修内容と取組（成果）
心肺蘇生法、AED、エピペン 使用に関する知識技術の習得	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度当初に体育科教諭及び養護教諭による緊急対応（熱中症、心停止、食物アレルギー）の助言指導を行った。</li> <li>※実際の緊急対応の場面を想定して、学年ごとにグループに分かれ、役割分担をしながら、手順等を確認した。</li> </ul>
不祥事根絶研修	<p>不祥事根絶に向けて、教職員の意識啓発と行動改善を図るため、次のような研修・取組を実施。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 コンプライアンス研修           <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報セキュリティ研修（情報管理課による）</li> <li>・教職員の生徒指導に係る共通ルールの確認</li> <li>・体罰防止、ハラスメント防止研修（ロイロノート・スクールを活用したグループワーク）</li> <li>・令和7年度コンプライアンス研修動画、児童生徒性暴力防止に向けた動画研修の視聴</li> <li>・校内死角改善確認シート等を活用した啓発</li> </ul> </li> <li>2 人権教育研修           <ul style="list-style-type: none"> <li>・「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律（抜粋）」の確認</li> <li>・人権教育伝達研修</li> </ul> </li> <li>3 会計・物品事務の適正化研修           <ul style="list-style-type: none"> <li>・会計及び物品事務に係る職場リレー研修（学校徴収金等事務処理基準より学校徴収金、会計事務等について）</li> </ul> </li> </ol>

目 的	研修内容と取組（成果）
授業改善 効果的な ICT 機器の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「教職員のための財務会計入門」に基づく実務研修</li> <li>・公開授業週間、授業アンケートを年2回設定し、さらに10月には保護者や中学生を対象にした公開授業を実施して、授業改善に活用する。</li> <li>・7月17日に実施した体罰防止・ハラスメント防止研修において、ロイロノート・スクールを活用したグループワークを行い、その過程を「ロイロノート・スクール活用研修」として位置付け、生徒の主体的な学習を支援する方法を教員間で共有した。</li> <li>・8月25日に県教育委員会教育DX推進課に依頼して『生成AI研修（基礎編）』を、8月27日にはソフトバンクに依頼して『生成AI研修（応用編）』を実施し、教職員の理解を深めることで、生成AIの効果的な活用による授業改善と教育業務の効率化を推進した。</li> <li>・12月には、静岡県総合教育センター指導主事を講師に迎え、「学習評価に基づいた授業改善」をテーマにした校内研修会を実施し、教員の授業力向上を図る。</li> </ul>

## 6 防災対策について

### (1) 防災計画

年度当初に前年度の学校警備計画および防災計画を見直し、最新の避難情報の改訂や職員人事異動・分掌変更を反映させた。具体的には、「職員連絡網」「災害応急対策要員連絡網」「避難誘導経路」「校内火気取扱い責任者」「防災組織と任務表」等を整理し、『危機管理マニュアル（別冊）』として全職員に配布・周知している。また、毎年度「緊急時における行動指針」の見直しを行い、必要な修正を加えることで、災害・事故発生時に迅速かつ適切に対応できる体制の維持に努めている。

今後の課題として、本校は、南海トラフ地震の影響が懸念される地域に位置し、さらに浜岡原子力発電所の緊急防護措置区（UPZ）内に所在しているため、原子力災害を含めた危機対応に関する情報を、行政機関から継続的に収集することが不可欠である。また、実際の災害発生時に即応できるよう、実効性の高い防災訓練の実施や、緊急時に備えた物資の備蓄・体制整備を一層充実させる必要がある。

### (2) 防災訓練

年度	目 的	内 容	対 象
令和6年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南海トラフ巨大地震や大規模火災の発生に備えて、生徒の安全を第一とする防災体制の確立を図る。</li> <li>・災害時の人的・物的被害を最小限とする。</li> </ul>	4月26日 危機管理マニュアルと別冊（今年度版）を全職員に配布 <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震、火災、台風など様々な災害に対する基本的な対応を記載</li> <li>・職員連絡網、校内避難誘導経路、校内防災組織等について記載</li> <li>・災害応急対策要員、参集場所等の確認</li> </ul>	全職員
		4月30日 防災訓練（地区確認） <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区別生徒集合訓練</li> <li>（1）地震発生時の避難経路の確認</li> <li>（2）自分の所属する地区の確認</li> </ul>	全生徒 全教職員

年度	目的	内容	対象
		(3) 南海トラフ地震発生時の確認 (4) 台風等の警報発令時の対応の確認 (5) 生徒の緊急連絡メール「きずなネット」の登録状況の確認	
		12月10日 防災訓練 ・地震による火災を想定した災害時における全校避難の訓練 ・各授業教室から放送の指示にしたがいグラウンドへ避難 ・クラス別で整列、点呼の後、地区別に再整列、点呼	全生徒 全教職員

年度	目的	内容	対象
令和7年度	・南海トラフ巨大地震や大規模火災の発生に備えて、生徒の安全を第一とする実効性のある防災体制の確立を図る。 ・災害時の人的・物的被害を最小限とする。	4月13日 危機管理マニュアルの別冊（職員連絡網）等を全教職員に配布 5月16日 危機管理マニュアル（令和7年度版）を全教職員に配布 ・地震、火災、台風など様々な災害に対する基本的な対応をまとめて記載 ・職員連絡網、校内避難誘導経路、校内防災組織等について記載 ・災害応急対策要員、参集場所等の確認	全教職員
		4月30日 防災訓練（地区確認） ・地区別生徒集合訓練 (1) 地震発生時の避難経路の確認 (2) 自分の所属する地区の確認 (3) 南海トラフ地震発生時の確認 (4) 台風等の警報発令時の対応の確認 (5) 生徒の緊急連絡メール「きずなネット」の登録状況の確認	全生徒 全教職員
		12月9日 防災訓練 ・地震発生時における全校避難の訓練 ・各授業教室から放送の指示にしたがいグラウンドへ避難 ・避難時に2度目の緊急地震速報が鳴ったと想定して、対応を確認 ・クラス別で整列、点呼の後、地区別に再整列、点呼	全生徒 全職員

### (3) 地域防災

地域防災訓練は、例年12月に実施されているが、令和3年度及び令和4年度は、地域側の判断により高校生の参加を求めない形で実施されたため、生徒参加率は19%と低調にとどまった。

令和5年度は、訓練実施時期に新型コロナウイルス感染症やインフルエンザが流行し、多くの地区で高校生の参加を見合わせた結果、生徒参加率は68%となった。令和6年度も前年度と同様の理由から、参加率は67%と横ばいの状況だった。

### (4) 学校警備体制

本校では、生徒の在校時間帯において、来校者に受付で名札を手渡し、着用を義務付けるとともに、

受付担当者から関係教職員へ確実に取り次ぐなどして、生徒の安全確保に努めている。あわせて、退校時の戸締まり・校門閉鎖・火気点検を徹底し、不法侵入の防止および火災予防を図っている。

夜間は、機械警備を導入し、警備体制を強化している。さらに、不審者侵入や事件・事故など不測の緊急事態に備え、対応方法を「危機管理マニュアル」に一括して整理し、全教職員に周知徹底している。

また、週休日・休日の警備については、校舎の鍵の貸出手順および記録簿を見直し、鍵の管理を一層厳格化することで、安全確保を図った。

## 7 学校開放について

本校では、例年10月に公開授業を実施している。加えて、長年にわたり商業科を設置してきた経緯もあり、学校行事に際しては地域住民や近隣中学校に対し来場の呼び掛けを行ってきた。その結果、双翼祭（文化祭）等の行事には多数の地域住民の来校が見られる。

令和7年度の文化祭についても、令和6年度と同様に、保護者・同居家族、近隣中学校、地域住民に来場を呼び掛け、多くの参加を得ることができた。

施設開放については、生徒の諸活動により利用可能な施設が限られているため、令和6年度は本校PTAへの開放にとどまっている。

項目 年度	登録 団体数	開放施設	利用日数 (延)	利用人数 (延)	利用内容	利用者負担金 (電気料)
令和6年度	1	教室	20日	2,733人	進学補講及び模試	0円

## 事務執行の根拠法令調

項 目	根 拠 法 令
1 学校教育に関すること	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第50条、第51条、第52条、第56条、第57条、第62条） 産業教育振興法（第18条） 理科教育振興法（第11条） 産業教育振興法施行令 理科教育振興法施行令 学校教育法施行規則 高等学校学習指導要領 静岡県立学校設置条例 静岡県立学校管理規則 静岡県立高等学校学則 静岡県立学校処務規程 高等学校修学旅行に関する基準 高等学校集団宿泊研修に関する基準
2 学校の管理・運営に関すること	教育基本法（第4条） 学校教育法（第12条、第60条、第137条） 学校保健安全法（第5条、第15条、第27条） 学校図書館法（第3条、第4条、第5条） 高等学校等就学支援金の支給に関する法律（第3条） 独立行政法人日本スポーツ振興センター法（第16条、第17条） 社会教育法（第43条、第45条、第47条、第48条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 教育公務員特例法（第14条、第17条、第18条、第21条、第22条、第23条、第24条） 地方公務員法（第6節、第7節） いじめ防止対策推進法 学校保健安全法施行令 教育公務員特例法施行令 学校教育法施行規則 高等学校設置基準 学校保健安全法施行規則 高等学校学習指導要領 静岡県立学校設置条例 静岡県立学校授業料等徴収条例 静岡県手数料徴収条例 学校教育法施行細則 静岡県立学校管理規則 静岡県立高等学校学則 静岡県立学校授業料等徴収規則 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与規則 静岡県立学校処務規程 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 静岡県高等学校等教育資金及び高等学校等奨学金貸与実施要綱

## 学校施設の概要

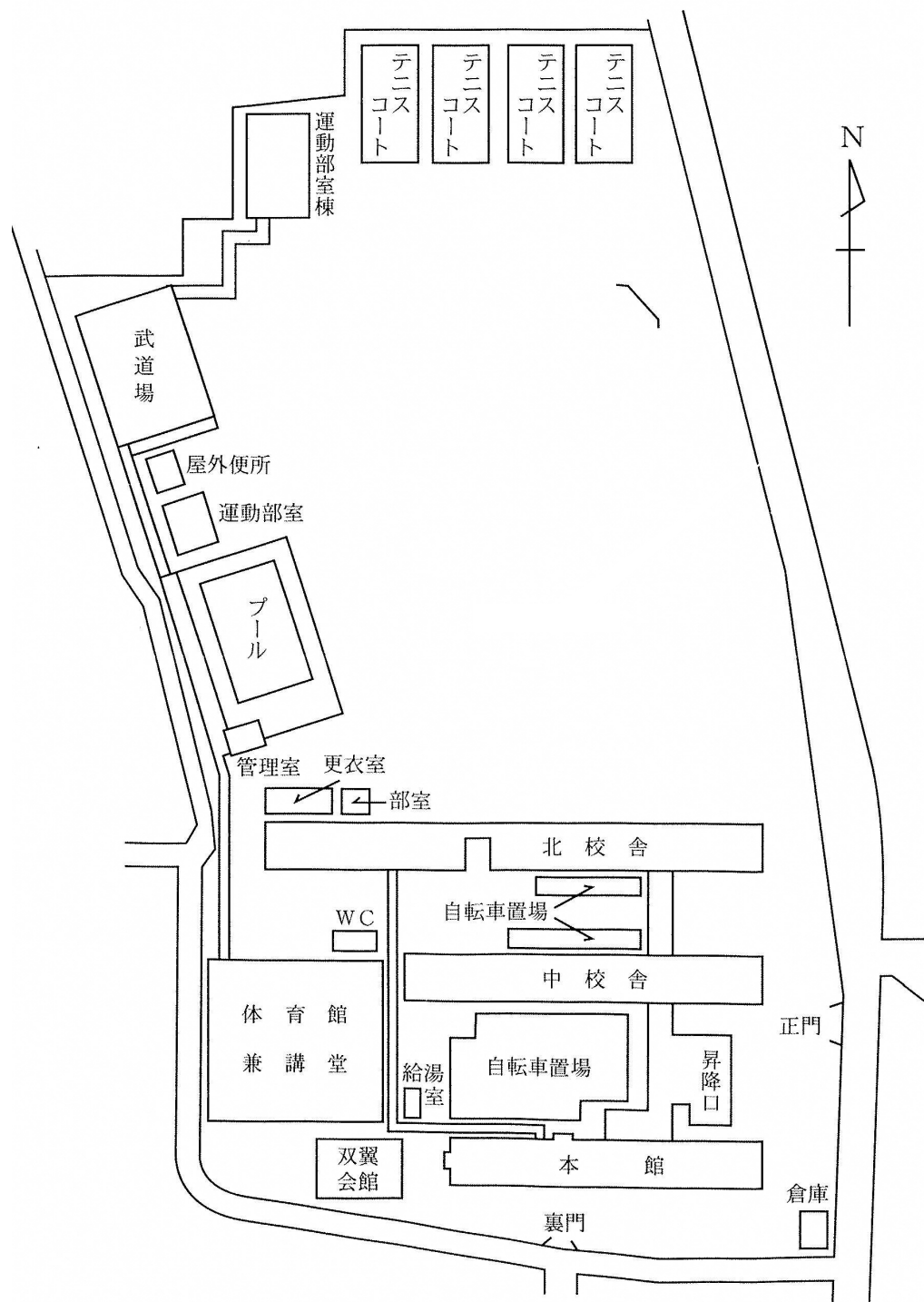
### 1 面積及び所有区分

(令和7年6月30日現在)

区 分	面 積 m <sup>2</sup>	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m <sup>2</sup>	国 有 m <sup>2</sup>	市町村有 m <sup>2</sup>	後援会有 m <sup>2</sup>	民 有 m <sup>2</sup>	
学 校 敷 地	28,625.96	24,682.69		3,943.27			
内 訳	校 舎 敷 地	15,076.89	11,407.24		3,669.65		
	運 動 場 敷 地	13,549.07	13,275.45		273.62		
	そ の 他 の 敷 地						
校 舎	建 2,791.33	2,791.33					
	延 8,321.70	8,321.70					
体 育 館	建 1,337.08	1,337.08					
	延 1,533.46	1,533.46					
武 道 場	建 572.91	572.91					
	延 572.91	572.91					
そ の 他 の 建 物	建 1,766.23	1,590.55			175.68		教育振興会
	延 2,094.85	1,838.21			256.64		
生 活 館	建 192.89				192.89		同窓会
	延 362.42				362.42		
プ ー ル	400.00	400.00					25m×16m 7コース
職 員 住 宅	1戸	1戸					

## 2 配置・規模等

### (1) 校舎等の配置図



### (2) 学校施設の規模等（法面・演習林等を除く）

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当 校	28,625.96 m <sup>2</sup>	8,321.70 m <sup>2</sup>	13,549.07 m <sup>2</sup>
県 平 均	45,574.48 m <sup>2</sup>	9,782.41 m <sup>2</sup>	22,506.84 m <sup>2</sup>

# 在籍生徒調

(令和7年6月30日現在)

学年	学科別	普通科				総合ビジネス科				(合計)			
	区分	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	合計
1年	入学者	120	57	68	125	80	37	47	84	200	94	115	209
	増加				0				0		0	0	0
	減少				0				0		0	0	0
	現在		57	68	125		37	47	84		94	115	209
2年	入学者	120	60	63	123	80	24	58	82	200	84	121	205
	増加				0				0		0	0	0
	減少			1	1		1		1		1	1	2
	2年時当初		60	62	122		23	58	81		83	120	203
	増加				0				0		0	0	0
	減少				0				0		0	0	0
	現在		60	62	122		23	58	81		83	120	203
3年	入学者	160	78	86	164	80	34	47	81	240	112	133	245
	増加				0				0		0	0	0
	減少			2	2		1		1		1	2	3
	2年時当初		78	84	162		33	47	80		111	131	242
	増加				0				0		0	0	0
	減少			1	1		1		1		1	1	2
	3年時当初		78	83	161		32	47	79		110	130	240
	増加				0				0		0	0	0
	減少				0				0		0	0	0
現在		78	83	161		32	47	79		110	130	240	
合計		400	195	213	408	240	92	152	244	640	287	365	652

## 入学志願者及び入学者数調

(全日制)

区 分		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		普通	総ビ	普通	総ビ	普通	総ビ	普通	総ビ	普通	総ビ
生徒定員(A)		160	80	160	80	160	80	120	80	120	80
募集者数(B)		160	80	160	80	160	80	120	80	120	80
志願者数	男	76 (0)	28 (0)	83 (0)	33 (0)	91 (0)	29 (0)	74 (0)	30 (0)	64 (0)	39 (0)
	女	92 (0)	54 (0)	89 (0)	62 (0)	95 (0)	53 (0)	78 (0)	62 (0)	76 (0)	56 (0)
	計(C)	168 (0)	82 (0)	172 (0)	95 (0)	186 (0)	82 (0)	152 (0)	92 (0)	140 (0)	95 (0)
受検者数	男	76 (0)	28 (0)	83 (0)	33 (0)	91 (0)	29 (0)	74 (0)	30 (0)	63 (0)	40 (0)
	女	92 (0)	54 (0)	88 (0)	62 (0)	95 (0)	53 (0)	77 (0)	61 (0)	74 (0)	56 (0)
	計(D)	168 (0)	82 (0)	171 (0)	95 (0)	186 (0)	82 (0)	151 (0)	91 (0)	137 (0)	96 (0)
合格者数	男	73 (0)	27 (0)	81 (0)	28 (0)	78 (0)	35 (0)	60 (0)	24 (0)	57 (0)	37 (0)
	女	87 (0)	53 (0)	83 (0)	54 (0)	86 (0)	47 (0)	63 (0)	58 (0)	68 (0)	47 (0)
	計(E)	160 (0)	80 (0)	164 (0)	82 (0)	164 (0)	82 (0)	123 (0)	82 (0)	125 (0)	84 (0)
志願倍率(C)/(B)		1.05	1.03	1.08	1.19	1.16	1.03	1.27	1.15	1.17	1.19
受検倍率(D)/(B)		1.05	1.03	1.07	1.19	1.16	1.03	1.26	1.14	1.14	1.20
入学者数	男	73	27	81	28	78	34	60	24	57	37
	女	87	53	83	54	86	47	63	58	68	47
	計(F)	160	80	164	82	164	81	123	82	125	84
充足率(F)/(A)		1.00	1.00	1.03	1.03	1.03	1.01	1.03	1.03	1.04	1.05

# 卒業生の動向調

## 1 進路状況

学 科 別		普 通 科			総合ビジネス科			( 計 )		
		令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度
卒 業 生 徒 数		157	155	163	77	76	78	234	231	241
内 進 学 者  訳	(進学志願者)	(150)	(154)	(158)	(47)	(34)	(23)	(197)	(188)	(181)
	大 学 ・ 短 大	114	121	132	21	18	23	135	139	155
	専修・各種学校等	30	31	24	26	16	10	56	47	34
	小 計	144	152	156	47	34	33	191	186	189
	就 職 者	6	1	5	30	41	45	36	42	50
	自 営 者	1	0	0	0	0	0	1	0	0
	進 学 準 備 者	6	2	2	0	0	0	6	2	2
	そ の 他	0	0	0	0	1	0	0	1	0
合 計		157	155	163	77	76	78	234	231	241

## 2 求人状況 (全日制のみ)

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度
就 職 希 望 者 数	36	42	47
求 人 数	398	432	548
求 人 倍 率	11.1	10.3	11.7

## 3 資格取得状況

(令和6年度)

学科別			普通科	総合ビジネス科	(計)
検 定 種 目		卒業生徒数	163	78	241
簿記	全商	1級			0
		1級(原価)		1	1
		1級(会計)			0
		2級			0
	日商	2級		10	10
		3級			0
ファイナンシャルプランニング		3級		1	
珠算	全商	1級		2	2
		1級(普通)			0
		1級(ビジネス)			0
電卓	全商	1級		19	19
		1級(普通)		4	4
		1級(ビジネス)		4	4
		2級(ビジネス)			0
情報処理 (プログラミング)	全商	1級		2	2
		2級			0
情報処理 (ビジネス情報)	全商	1級		6	6
		2級			0
経済産業省応用情報処理技術者試験				1	1
経済産業省基本情報処理技術者試験				1	1
経済産業省ITパスポート				1	1
英語	全商	1級		1	1
		2級			0
英語	実用	準1級			0
		2級	4		4
		準2級	2	1	3
ビジネス文書実務	全商	1級		6	6
		1級(文書)		6	6
		1級(速度)			0
		2級		1	1
		2級(文書)			0
		2級(速度)			0
商業経済	全商	1級		68	68
		2級		4	4
会計実務	全商	財務会計		2	2
		財務諸表分析		3	3
ワープロ	日本情報処理	1級		2	2
		準1級			0
文章入力スピード認定	日本情報処理	英語1級	1	1	2
		英語2級	1		1
文書デザイン	日本情報処理	1級		3	3
プレゼンテーション	日本情報処理	1級	2	3	5
ホームページ作成	日本情報処理	1級		27	27
漢字	日本漢字能力検定	2級	1	1	2
合 計			11	181	192

※全商1級 8種目…1人 6種目…8人 5種目…9人 4種目…13人 3種目…15人

## 生 徒 の 状 況

### 1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和7年6月30日現在) (単位:人)

市町名	磐田市	袋井市	浜松市	掛川市	その他	合 計
生徒数	476	107	28	23	18	652
構成比%	73.0	16.4	4.3	3.5	2.8	100%

(2) 通学方法 (令和7年6月30日現在) (単位:人)

区分	電車	バス	自転車	徒歩	その他	合 計
生徒数	114	20	468	36	14	652
構成比%	17.5	3.1	71.8	5.5	2.1	100%

### 2 部 (クラブ) の加入状況 (令和7年6月30日現在) (単位:人)

区分		運動部	文化部	未加入者	計
部 (クラブ) 数		12	14	/	24
男子	1 年	81	9	4	94
	2 年	58	17	8	83
	3 年	78	24	8	110
	計 (A)	217	50	20	287
	構成比	74.9	17.4	7.0	100%
女子	1 年	33	76	6	115
	2 年	37	79	4	120
	3 年	41	86	3	130
	計 (B)	111	241	13	365
	構成比	30.4	65.6	3.6	100%
合計	(A+B)	328	291	33	652
	構成比	51.7	44.6	5.1	100%

## 授 業 料 収 納 状 況 調 査

(全日制)

(令和6年度)

期 別	調 定 の 状 況								収 納 の 状 況			異 動 者 等 の 状 況		
	1 年		2 年		3 年		計		納 期 内 収 納 額	納 期 後	収 入			
	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	人 員	調 定 額	収 納 率	収 納 額	未 済 額			
	人	円	人	円	人	円	人	円	円	%	円	円		
一 期	5												A. 期首収納権利発生額 =4,237,200円 (142人×9,900円×3月+1人×2月) B. 収納権利増減額 =0円 C. 収納必要額 A(±)B =4,237,200円	
	6													
	7	39	1,158,300	49	1,455,300	54	1,603,800	143	4,237,200	4,148,100	97.9%	89,100		
	8										89,100	0		
	計	39	1,158,300	49	1,455,300	55	1,623,600	143	4,237,200	4,148,100	97.9%	89,100		0
二 期	9												A. 期首収納権利発生額 =7,920,000円 (160人×9,900円×5月) B. 収納権利増減額 =▲89,100円 〈内訳〉 支援金認定：1年：▲2人 2人×9,900円×2月=▲39,600円 支援金認定：2年：▲1人 1人×9,900円×5月=▲49,500円 C. 収納必要額 A(±)B =7,830,900円	
	10	45	2,227,500	53	2,623,500	62	3,069,000	158	7,880,400	7,821,000	99.2%	59,400		
		▲2	▲39,600											
	11							0	0		59,400	0		
	12			▲1	▲49,500			▲1	▲49,500	▲49,500				0
	1							0	0					0
	2													0
計	43	2,187,900	52	2,574,000	62	3,069,000	157	7,830,900	7,771,500	99.2%	59,400	0		
三 期	12												A. 期首収納権利発生額 =6,217,200円 (157人×9,900円×4月) B. 収納権利増減額 =0円 C. 収納必要額 A(±)B =6,217,200円	
	1	43	1,702,800	52	2,059,200	62	2,455,200	157	6,217,200	6,217,200	100.0%	0		
	2							0	0					0
	3							0	0					0
	計	43	1,702,800	52	2,059,200	62	2,455,200	157	6,217,200	6,217,200	100.0%	0		0
合計	125	5,049,000	153	6,088,500	179	7,147,800	457	18,285,300	18,136,800	99.2%	148,500	0	D. 収納必要額 =18,285,300円	

令和7年度 該当なし

## 歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A 円	収 入 済 額	
		納 期 内 B 円	納 期 後 C 円
款 08使用料及び手数料	82,860,650	82,712,150	148,500
項 01使用料	81,577,200	81,428,700	148,500
目 09教育使用料	81,577,200	81,428,700	148,500
02全日制高等学校授業料	81,556,200	81,407,700	148,500
08庁舎等使用料	21,000	21,000	0
項 02手数料	1,283,450	1,283,450	0
目 07教育手数料	1,283,450	1,283,450	0
01高等学校入学料	1,158,250	1,158,250	0
02証明書発行手数料	30,600	30,600	0
04高等学校全日制入学検 定料	94,600	94,600	0
款 10財産収入	1,143,900	1,143,900	0
項 01財産運用収入	1,143,900	1,143,900	0
目 01財産貸付収入	1,143,900	1,143,900	0
02土地貸付料	738,000	738,000	0
03建物貸付料	405,900	405,900	0
款 14諸収入	739,373	739,373	0
項 07雑入	739,373	739,373	0
目 02雑入	739,373	739,373	0
87保険料負担金	591,565	591,565	0
保険料負担金	453,304	453,304	0
非常勤職員	138,261	138,261	0
90雑収	147,808	147,808	0
計	84,743,923	84,595,423	148,500



## 歳 入 予 算

一般会計

区 分	調 定 額 A 円	収 入 済 額	
		納 期 内 B 円	納 期 後 C 円
款 08使用料及び手数料	1,215,050	1,215,050	0
項 01使用料	21,000	21,000	0
目 10教育使用料	21,000	21,000	0
08庁舎等使用料	21,000	21,000	0
項 02手数料	1,194,050	1,194,050	0
目 09教育手数料	1,194,050	1,194,050	0
01高等学校入学料	1,180,850	1,180,850	0
02証明書発行手数料	13,200	13,200	0
款 10財産収入	968,000	968,000	0
項 01財産運用収入	968,000	968,000	0
目 01財産貸付収入	968,000	968,000	0
02土地貸付料	644,600	644,600	0
03建物貸付料	323,400	323,400	0
款 14諸収入	196,335	196,335	0
項 07雑入	196,335	196,335	0
目 02雑入	196,335	196,335	0
90保険料負担金	165,949	165,949	0
92過年度返納金	543	543	0
93雑収	29,843	29,843	0
計	2,379,385	2,379,385	0



県収入証紙により徴収した使用料及び手数料調

区 分	令和6年度	令和7年6月30日現在
	件 数	件 数
入学検定料	192	0

# 現 金 出 納 調

(令和 6年度)

磐田西高等学校

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出 納 員 領 収 書 発 行 総 額 及 び 枚 数	現 金 払 込 調 書 兼 領 収 書 総 額 及 び 枚 数
	越 高	受 高	計				
教育手数料	円 0	円 1,188,850	円 1,188,850	円 1,188,850	円 0	円 1,188,850 275 枚	円 1,188,850 68 枚
雑入	0	1,100	1,100	1,100	0	1,100 1 枚	1,100 1 枚
計	0	1,189,950	1,189,950	1,189,950	0	1,189,950 276 枚	1,189,950 69 枚

# 現 金 出 納 調

(令和 7年度)  
(令和 7年 6月30日現在)

区 分	受 入 額			払 出 額	残 高	出納員領収書 発行総額及び 枚 数	現金払込調書 兼領収書総額 及び枚数
	越 高	受 高	計				
教育手数料	円 0	円 1,194,050	円 1,194,050	円 1,194,050	円 0	円 1,194,050 242 枚	円 1,194,050 26 枚
計	0	1,194,050	1,194,050	1,194,050	0	1,194,050 242 枚	1,194,050 26 枚

## 預 金 調

(令和7年6月30日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 円	摘 要
静岡銀行磐田支店	無利息型 普通預金	0394551	静岡県立磐田西高等学校 資金前渡者 西村 智子	0	公金受領用
静岡銀行磐田支店	無利息型 普通預金	0549630	(自振口)静岡県立磐田西高等学校 資金前渡者 校長 西村 智子	0	公共料金等 振替用
残 高 合 計				0	

# 歳入歳出外現金調

(令和 6年度)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
公立学校共済組合掛金等	円 0	円 319,396	円 319,396	円 0	
教職員互助組合掛金等	0	20,904	20,904	0	
所得税	59,364	278,023	278,603	58,784	
縣市町村民税	11,700	23,400	35,100	0	
保証金	114,390	674,300	0	788,690	
計	185,454	1,316,023	654,003	847,474	

## 歳入歳出外現金調

(令和 7年度)  
(令和 7年 6月30日現在)

区 分	越 高	受 高	払 高	残 高	摘 要
公立学校共済組合掛金等	円 0	円 96,494	円 72,297	円 24,197	
教職員互助組合掛金等	0	5,654	5,654	0	
所得税	58,784	111,531	0	170,315	
保証金	788,690	0	691,890	96,800	
計	847,474	213,679	769,841	291,312	

# 歳出予算執行状況調

(令和 6年度)

一般会計

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 11 教育費	123,117,181	123,117,181	0	
項 02 教育委員会費	8,992,052	8,992,052	0	
目 02 教育総務費	19,323	19,323	0	
01 報酬	19,323	19,323	0	
03 非常勤職員報酬	19,323	19,323	0	
目 03 教育管理費	8,852,729	8,852,729	0	
08 旅費	17,729	17,729	0	
02 普通旅費	17,729	17,729	0	
10 需用費	1,630,000	1,630,000	0	
01 その他の需用費	1,630,000	1,630,000	0	
14 工事請負費	7,205,000	7,205,000	0	
目 04 教育厚生費	120,000	120,000	0	
01 報酬	120,000	120,000	0	
03 非常勤職員報酬	120,000	120,000	0	
項 05 高等学校費	96,728,325	96,728,325	0	
目 01 高等学校総務費	9,103,766	9,103,766	0	
01 報酬	5,955,588	5,955,588	0	
03 非常勤職員報酬	5,955,588	5,955,588	0	
03 職員手当等	1,306,714	1,306,714	0	
01 その他の職員手当等	1,306,714	1,306,714	0	
04 共済費	1,514,853	1,514,853	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	1,514,853	1,514,853	0	
08 旅費	326,611	326,611	0	
01 その他の旅費	215,702	215,702	0	
02 普通旅費	110,909	110,909	0	
目 02 高等学校管理費	87,624,559	87,624,559	0	
01 報酬	1,155,408	1,155,408	0	
03 非常勤職員報酬	1,155,408	1,155,408	0	

一般会計

(令和 6年度)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
04 共済費	725	725	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	725	725	0	
07 報償費	68,000	68,000	0	
01 その他の報償費	68,000	68,000	0	
08 旅費	3,005,790	3,005,790	0	
01 その他の旅費	1,363	1,363	0	
02 普通旅費	3,004,427	3,004,427	0	
10 需用費	10,245,704	10,245,704	0	
01 その他の需用費	10,245,704	10,245,704	0	
02 食糧費	0	0	0	
11 役務費	1,008,946	1,008,946	0	
12 委託料	2,154,410	2,154,410	0	
13 使用料及び賃借料	1,001,171	1,001,171	0	
17 備品購入費	516,780	516,780	0	
18 負担金、補助及び交付金	63,293,900	63,293,900	0	
19 扶助費	5,173,725	5,173,725	0	
項 07 特別支援学校費	289,444	289,444	0	
目 02 特別支援学校管理費	289,444	289,444	0	
12 委託料	289,444	289,444	0	
項 08 学校教育費	17,107,360	17,107,360	0	
目 01 高校教育費	14,984,309	14,984,309	0	
01 報酬	3,922,619	3,922,619	0	
03 非常勤職員報酬	3,922,619	3,922,619	0	
04 共済費	771,518	771,518	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	771,518	771,518	0	
07 報償費	228,000	228,000	0	
01 その他の報償費	228,000	228,000	0	
08 旅費	50,642	50,642	0	

一般会計

(令和 6年度)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
01 その他の旅費	3,878	3,878	0	
02 普通旅費	46,764	46,764	0	
10 需用費	354,300	354,300	0	
01 その他の需用費	354,300	354,300	0	
17 備品購入費	9,657,230	9,657,230	0	
目 04 健康体育費	2,123,051	2,123,051	0	
01 報酬	1,410,000	1,410,000	0	
03 非常勤職員報酬	1,410,000	1,410,000	0	
04 共済費	6,650	6,650	0	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	6,650	6,650	0	
07 報償費	280,800	280,800	0	
01 その他の報償費	280,800	280,800	0	
08 旅費	98,626	98,626	0	
01 その他の旅費	98,626	98,626	0	
11 役務費	326,975	326,975	0	
計	123,117,181	123,117,181	0	

# 歳出予算執行状況調

(令和7年度)  
(令和7年6月30日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
款 12教育費	104,043,014	6,965,342	97,077,672	
項 02教育委員会費	3,322,000	87,230	3,234,770	
目 03教育管理費	3,202,000	87,230	3,114,770	
10需用費	1,692,000	87,230	1,604,770	
01その他の需用費	1,692,000	87,230	1,604,770	
14工事請負費	1,510,000	0	1,510,000	
目 04教育厚生費	120,000	0	120,000	
01報酬	120,000	0	120,000	
03非常勤職員報酬	120,000	0	120,000	
項 05高等学校費	88,974,240	5,073,889	83,900,351	
目 01高等学校総務費	8,085,000	2,395,105	5,689,895	
01報酬	4,764,000	1,353,436	3,410,564	
03非常勤職員報酬	4,764,000	1,353,436	3,410,564	
03職員手当等	1,448,000	723,903	724,097	
01その他の職員手当等	1,448,000	723,903	724,097	
04共済費	1,514,000	52,994	1,461,006	
02報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	1,514,000	52,994	1,461,006	
08旅費	359,000	264,772	94,228	
01その他の旅費	140,000	46,678	93,322	
02普通旅費	219,000	218,094	906	
目 02高等学校管理費	80,889,240	2,678,784	78,210,456	
01報酬	212,000	6,000	206,000	
03非常勤職員報酬	212,000	6,000	206,000	
04共済費	3,000	0	3,000	
02報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	3,000	0	3,000	
07報償費	60,000	0	60,000	
01その他の報償費	60,000	0	60,000	
08旅費	2,933,440	300,939	2,632,501	

一般会計

(令和 7年度)  
(令和 7年 6月30日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
01 その他の旅費	38,440	3,035	35,405	
02 普通旅費	2,895,000	297,904	2,597,096	
10 需用費	9,025,800	1,702,094	7,323,706	
01 その他の需用費	9,019,800	1,702,094	7,317,706	
02 食糧費	6,000	0	6,000	
11 役務費	1,167,000	106,373	1,060,627	
12 委託料	2,463,000	263,484	2,199,516	
13 使用料及び賃借料	877,000	288,394	588,606	
17 備品購入費	800,000	0	800,000	
18 負担金、補助及び交付金	63,348,000	11,500	63,336,500	
項 07 特別支援学校費	317,460	37,822	279,638	
目 02 特別支援学校管理費	317,460	37,822	279,638	
12 委託料	317,460	37,822	279,638	
項 08 学校教育費	11,429,314	1,766,401	9,662,913	
目 01 高校教育費	10,403,664	1,224,284	9,179,380	
01 報酬	4,320,000	1,080,000	3,240,000	
03 非常勤職員報酬	4,320,000	1,080,000	3,240,000	
04 共済費	714,000	119,424	594,576	
02 報酬、給料及び賃金に係る社会保険料	714,000	119,424	594,576	
07 報償費	458,040	24,000	434,040	
01 その他の報償費	458,040	24,000	434,040	
08 旅費	178,744	860	177,884	
01 その他の旅費	148,744	860	147,884	
02 普通旅費	30,000	0	30,000	
10 需用費	32,880	0	32,880	
01 その他の需用費	32,880	0	32,880	
13 使用料及び賃借料	300,000	0	300,000	
17 備品購入費	4,400,000	0	4,400,000	

一般会計

(令和 7年度)  
(令和 7年 6月30日現在)

区 分	令 達 予 算 額	支 出 済 額	支 出 未 済 額	摘 要
	円	円	円	
目 04 健康体育費	1,025,650	542,117	483,533	
01 報酬	280,000	162,000	118,000	
03 非常勤職員報酬	280,000	162,000	118,000	
07 報償費	280,800	14,400	266,400	
01 その他の報償費	280,800	14,400	266,400	
08 旅費	120,000	20,867	99,133	
01 その他の旅費	120,000	20,867	99,133	
11 役務費	344,850	344,850	0	
計	104,043,014	6,965,342	97,077,672	

## 委託料等歳出予算執行状況節別集計表

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)		
					令和5年度	令和6年度	左のうち令和4年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	/	2,154,410	/
	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		289,444	
計					2,473,520	2,443,854	0
(14) 工事請負費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	/	7,205,000	/
計					2,549,800	7,205,000	0
(16) 公有財産購入費	一般				/	0	/
計					0	0	0
(17) 備品購入費	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	/	516,780	0
	一般	教育費	学校教育費	高校教育費		9,657,230	
計					443,410	10,174,010	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	/	63,293,900	
計					68,484,700	63,293,900	0

## 委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和7年6月30日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額 (円)	
						うち、6年度からの繰越額分
(12) 委託料	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	263,484	0
	一般	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	37,822	0
計					301,306	0
(14) 工事請負費	一般	教育費	教育委員会費	教育管理費	0	0
計					0	0
(16) 公有財産購入費	一般				0	0
計					0	0
(17) 備品購入費	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	0	0
	一般	教育費	学校教育費	高校教育費	0	0
計					0	0
(18) 負担金、補助及び交付金	一般	教育費	高等学校費	高等学校管理費	11,500	0
計					11,500	0

委託料に関する調

(令和6年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 専用水道点検管理業務	大学産業㈱	円 365,200	円 365,200	円 0	円 365,200	随契	R6.4.1 ~ R7.3.31	6.5.31 6.6.28 6.7.31 6.8.30 6.9.30 6.10.31 6.11.29 6.12.25 7.1.31 7.2.28 7.3.31 7.4.28 小計	円 24,200 24,200 42,900 24,200 24,200 42,900 24,200 24,200 42,900 24,200 24,200 42,900 小計	専用水道点検 月1回 滅菌装置保守点検 4回	随契1号 (少額)
2	静岡県立磐田西高等学校外4校可燃物収集運搬処分業務	㈱ハンモト	収集運搬料 1回当たり 6,435円 収納容器料 月額 1,100円 処分料 1kg当たり 17.6円	収集運搬料 1回当たり 5,885円 収納容器料 月額 1,100円 処分料 1kg当たり 17.6円	0	収集運搬料 1回当たり 5,885円 収納容器料 月額 1,100円 処分料 1kg当たり 17.6円	随契	R6.4.12 ~ R7.3.31	6.5.31 6.6.28 6.7.31 6.8.30 6.9.30 6.10.31 6.11.29 6.12.25 7.1.31 7.2.28 7.3.31 7.4.28 小計	円 60,550 79,120 84,172 72,397 58,451 65,414 87,533 67,093 74,872 73,605 59,166 73,499 小計	可燃物収集運搬処分 週2回	磐田西高校 磐田南高校 磐田北高校 浜松特別支援 学校磐田分校 袋井特別支援 学校磐田見付 分校 随契1号 (少額) 単価契約
3	産業廃棄物収集運搬処分業務	㈲やまや伊藤商店	収集運搬料 1回当たり 2,750円 処分料 1kg当たり 77.0円	収集運搬料 1回当たり 2,750円 処分料 1kg当たり 66.0円	0	収集運搬料 1回当たり 2,750円 処分料 1kg当たり 66.0円	随契	R6.4.19 ~ R7.3.31	6.5.30 6.6.28 6.7.22 6.8.19 6.9.20 6.10.17 6.11.14 6.12.19 7.1.27 7.2.21 7.3.21 7.4.17 小計	円 3,858 6,694 9,880 9,642 9,873 6,417 9,992 6,549 7,282 10,593 11,180 6,952 小計	産業廃棄物収集運搬処分 (廃プラスチック類) 月2回~5回	随契1号 (少額) 単価契約
4	水質検査業務	(一社)浜松市薬剤師会 浜松環境衛生研究所	658,570	658,570	0	658,570	随契	R6.4.15 ~ R7.3.31	6.5.31 6.6.28 6.7.31 6.8.30 6.9.30 6.10.31 6.11.29 6.12.25 7.1.31 7.2.28 7.3.31 7.4.28 小計	円 88,330 13,860 37,510 152,790 29,260 29,260 88,330 6,600 6,600 192,830 6,600 6,600 小計	井戸水検査 原水(39項目)1回 浄水(51項目)1回 浄水(25項目)3回 浄水(9項目)6回 浄水(11項目)2回 原水指標菌検査4回 市水検査 9項目+遊離残留塩素1回 プール水検査 6項目及び総トリハロメタン検査 1回 6項目検査4回 プール循環濾過装置出口濁度 5回	随契1号 (少額)
5	静岡県立磐田西高等学校外6校水泳プール浄化装置保守点検業務	㈲山静商会	444,400	429,000	0	429,000	随契	R6.4.12 ~ R6.11.29	6.12.25	円 429,000	磐田西高校(ろ過器1基) 磐田南高校(ろ過器2基) 磐田北高校(ろ過器1基) 磐田農業高校(ろ過器2基) 袋井高校(ろ過器1基) 袋井商業高校(ろ過器1基) 袋井特別支援学校(ろ過器1基) 始業点検1回、終了点検1回、 不測の事故等の点検 随時	随契1号 (少額)
6	産業廃棄物収集運搬処分業務	サンワ環境整備㈱	36,300	36,300	0	36,300	随契	R6.11.27 ~ R7.1.31	7.2.27	円 36,300	産業廃棄物処分のためコンテナ 設置 3㎡1基	随契1号 (少額)
	事務関係計	6件	—	—	—	—				円 2,443,854		
	合計	6件	—	—	—	—				円 2,443,854		

整理 番号	委託業務名	受託者	当初設計 金額	契約金額			契約 締結 方法	契約期間	支 出 年月日	金 額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変 更 増減額	計						
参考 1	静岡県立袋井高等学校外3校防鼠防虫業務	(株)帝装化成掛川営業所		539,000	0	539,000		R6.4.5 ～ R7.3.31			ねずみ、はえ及びびごきぶり等の侵入・発生の防止 巡回点検・生息調査 月1回	袋井 高等学校
参考 2	静岡県立磐田北高等学校外3校自家用電気工作物保安管理業務	遠鉄アシスト株式会社		1,535,600	0	1,535,600		R6.4.1 ～ R7.3.31			電気工作物保安管理 月次点検 隔月1回 年次点検 1回 臨時点検	磐田北 高等学校
参考 3	静岡県立磐田農業高等学校外8校消防用設備等保守点検業務	静岡県消防設備保守点検業協同組合		9,251,000	0	9,251,000		R6.4.1 ～ R7.3.31			消防設備維持点検管理 機器点検 1回 機器点検、総合点検 1回	磐田農業 高等学校
参考 4	静岡県立磐田北高等学校外4校ガスヒートポンプ点検業務	ヤマザキ・シー・エー株式会社		3,696,000	-16,500	3,679,500		R6.7.23 ～ R7.1.31			空調設備保守点検業務 定期点検 2回	磐田北 高等学校
参考 5	磐田袋井地区県立学校建築基準法第12条に基づく定期点検業務	(有)ローセイ産業		3,063,390	0	3,063,390		R6.11.1 ～ R7.2.28			建築基準法第12条に基づく 定期点検	磐田農業 高等学校
参考 6	静岡県立磐田南高等学校外8校警備業務	総合警備保障㈱静岡支社		17,166,600	0	17,166,600		R1.10.1 ～ R6.9.30			警備業務 毎日	磐田南 高等学校 R1債務
参考 7	静岡県立磐田南高等学校外8校警備業務	総合警備保障㈱静岡支社		13,602,600	0	13,602,600		R6.10.1 ～ R11.9.30			警備業務 毎日	磐田南 高等学校 R6債務
	計	7件		48,854,190	-16,500	48,837,690						

# 委託料に関する調

(令和7年度)  
(令和7年6月30日現在)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要
				当初額	変更増減額	計						
1	(事務関係) 専用水道点検管理業務	大学産業㈱	円 382,800	円 365,200	円 0	円 365,200	随契	R7.4.1 ~ R8.3.31	7.5.30 7.6.30 小計	円 24,200 24,200 48,400	専用水道点検 月1回 滅菌装置保守点検 4回	随契1号 (少額)
2	静岡県立磐田西高等学校外4校可燃物収集運搬処分業務	㈱ハンモト	収集運搬料 1回当たり 6,545円 収納容器料 月額 1,100円 処分料 1kg当たり 17.6円	収集運搬料 1回当たり 5,940円 収納容器料 月額 1,100円 処分料 1kg当たり 17.6円	0	収集運搬料 1回当たり 5,940円 収納容器料 月額 1,100円 処分料 1kg当たり 17.6円	随契	R7.4.11 ~ R8.3.31	7.5.30 7.6.30 小計	58,379 77,202 135,581	可燃物収集運搬処分 週2回	磐田西高校 磐田南高校 磐田北高校 浜松特別支援 学校磐田分校 袋井特別支援 学校磐田見付 分校 随契1号 (少額) 単価契約
3	産業廃棄物収集運搬処分業務	㈱クリーンオオシバ	収集運搬料 1回当たり 1,650円 処分料 1kg当たり 44.0円	収集運搬料 1回当たり 1,650円 処分料 1kg当たり 38.5円	0	収集運搬料 1回当たり 1,650円 処分料 1kg当たり 38.5円	随契	R7.4.11 ~ R8.3.31	7.5.26 7.6.23 小計	3,982 7,963 11,945	産業廃棄物収集運搬処分 (塵プラスチック類) 月2回~5回	随契1号 (少額) 単価契約
4	水質検査業務	(一社)浜松市薬剤師会 浜松環境衛生研究所	692,560	692,560	0	692,560	随契	R7.4.14 ~ R8.3.31	7.5.30 7.6.30 小計	90,970 14,410 105,380	井戸水検査 原水(39項目)1回 浄水(51項目)1回 浄水(25項目)3回 浄水(9項目)6回 浄水(11項目)2回 原水指標菌検査4回 市水検査 9項目+遊離残留塩素 1回 プール水検査 6項目及び総トリハロメタン検査 1回 6項目検査4回 プール循環濾過装置出口濁度 5回	随契1号 (少額)
5	静岡県立磐田西高等学校外6校水泳プール浄化装置保守点検業務	㈱山静商会	498,300	467,500	0	467,500	随契	R7.4.11 ~ R7.11.28			磐田西高校(ろ過器1基) 磐田南高校(ろ過器2基) 磐田北高校(ろ過器1基) 磐田農業高校(ろ過器2基) 袋井高校(ろ過器1基) 袋井商業高校(ろ過器1基) 袋井特別支援学校(ろ過器1基) 始業点検1回、終了点検1回、 不測の事故等の点検 随時	随契1号 (少額)
	事務関係計	5件	—	—	—	—				301,306		
	合計	5件	—	—	—	—				301,306		
参考1	静岡県立袋井高等学校外3校防鼠防虫業務	(株)帝装化成掛川営業所		539,000	0	539,000		R7.4.8 ~ R8.3.31			ねずみ、はえ及びごきぶり等の侵入・発生の防止 巡回点検・生忌調査 月1回 薬剤散布等 年2回	袋井高等学校
参考2	静岡県立磐田北高等学校外3校自家用電気工作物保安管理業務	遠鉄アシスト株式会社		1,490,280	0	1,490,280		R7.4.1 ~ R8.3.31			電気工作物保安管理 月次点検 隔月1回 年次点検 1回 臨時点検	磐田北高等学校
参考3	静岡県立磐田農業高等学校外8校消防用設備等保守点検業務	静岡県消防設備保守点検業協同組合		9,322,500	0	9,322,500		R7.4.1 ~ R8.3.31			消防設備維持点検管理 機器点検 1回 機器点検、総合点検 1回	磐田農業高等学校
参考4	静岡県立磐田南高等学校外8校警備業務	総合警備保障㈱静岡支社		13,602,600	0	13,602,600		R6.10.1 ~ R11.9.30			警備業務 毎日	磐田南高等学校 R6債務
	計	4件		24,954,380	0	24,954,380						

## 負担金支出調

(令和6年度)

整理 番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出 年月日
1	全国商業高等学校長協会 第152回春季総会・研究協議 会参加費	全国商業高等学校長 協会	開催要項	商業教育の振興	5,500円	R6.4.18
2	全国高等学校長協会第76回 総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催要項	教育の振興	4,000円	R6.5.1
3	東海四県高等学校長生徒 指導連絡協議会参加費	東海四県高等学校長 生徒指導連絡協議会長	開催要項	教育に関する研究協議	2,000円	R6.7.5
4	高等学校等就学支援金	磐田西高等学校生徒 (第1期分) 1年生 186名 2年生 193名 3年生 166名 (6月分) 1年生1名	高等学校等就学支援金 の支給に関する法律	高等学校に在籍する生 徒の授業料に充てる	16,196,400円	R6.7.31
5	全国商業高等学校長協会 秋季総会・研究協議会 参加費	全国商業高等学校長協会	開催要項	商業教育の振興	5,500円	R6.8.9
6	全国普通科高等学校長会 第74回総会・研究協議会 参加費	全国普通科高等学校長会	開催要項	教育の振興	6,000円	R6.8.19
7	高等学校等就学支援金	磐田西高等学校生徒 (7～8月分) 1年生 2名	高等学校等就学支援金 の支給に関する法律	高等学校に在籍する生 徒の授業料に充てる	39,600円	R6.10.31
8	高等学校等就学支援金	磐田西高等学校生徒 (第2期分) 1年生 179名 2年生 188名 3年生 159名 (7～9月分) 2年生 1名 (7月分) 3年生 1名	高等学校等就学支援金 の支給に関する法律	高等学校に在籍する生 徒の授業料に充てる	26,076,600円	R6.10.31
9	高等学校等就学支援金	磐田西高等学校生徒 (7～11月分) 2年生 1名	高等学校等就学支援金 の支給に関する法律	高等学校に在籍する生 徒の授業料に充てる	49,500円	R7.1.9
10	高等学校等就学支援金	磐田西高等学校生徒 (第3期分) 1年生 179名 2年生 189名 3年生 160名	高等学校等就学支援金 の支給に関する法律	高等学校に在籍する生 徒の授業料に充てる	20,908,800円	R7.1.31
	計	10件			63,293,900円	

## 負 担 金 支 出 調

(令和7年度)

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支 出 年月日
1	全国高等学校長協会第77回 総会・研究協議会参加費	全国高等学校長協会	開催要項	教育の振興	4,000円	R7.5.1
2	全国商業高等学校長協会 第154回春季総会・研究協議 会参加費	全国商業高等学校長協会	開催要項	商業教育の振興	5,500円	R7.5.2
3	東海四県高等学校長連絡協議 会総会・研究協議会参加費	東海四県高等学校長連絡 協議会	開催要項	教育の振興	2,000円	R7.6.30
計		3件			11,500円	

## 建 築

整理番号	予算科目	工 事 名	工 事 箇 所	当 初 設計金額	契 約 金 額		
					当 初 額	変更増減額	計
1	教育管理費	令和6年度静岡県立磐田西高等学校北校舎保健室空調設備更新工事	磐田市中泉地内	1,518,000	1,430,000	0	1,430,000
2	教育管理費	令和6年度静岡県立磐田西高等学校本館校長室及び進路室空調設備更新工事	磐田市中泉2680-1	5,775,000	5,775,000	0	5,775,000
		合計	2件	7,293,000	7,205,000	0	7,205,000

参考	教育管理費	令和6年度〔第36-Z2409-01号〕磐田西高等学校体育館照明改修工事	磐田市中泉地内	14,212,000	14,168,000	77,000	14,245,000
----	-------	--------------------------------------	---------	------------	------------	--------	------------

## 建 築

整理番号	予算科目	工 事 名	工 事 箇 所	当 初 設計金額	契 約 金 額		
					当 初 額	変更増減額	計
2	教育管理費	令和7年度静岡県立磐田西高等学校北校舎屋上西側給水管改修工事	磐田市中泉地内	1,507,000			

## 工 事 調

(令和6年度)

契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
随契	(株)永井設備商会	R6.10.4 ～ R6.12.13	1,430,000	保健室空調設備(天井吊形140型)1台の取替、既設空調設備撤去処分、室外機取付既設基礎流用	済	随契1号(少額) 令達R6.9.24 支払R7.1.22
指名	(株)永井設備商会	R6.12.27 ～ R7.3.31	5,775,000	校長室空調設備(天井吊形)の取替(パッケージエアコン1台) 進路室空調設備(天井吊形)の取替(室内機2台、室外機1台) 既設空調設備の撤去処分 室外機基礎既設流用 校長室電源1φ100Vから1φ200Vへ切替	済	令達R6.12.16 支払R7.4.28
			7,205,000			

制限付き一般競争入札	前島電気工事(株)	R6.6.18 ～ R6.10.9	14,245,000	体育館照明改修工事 一式	—	本庁経理 建築管理局設備課
------------	-----------	-------------------------	------------	--------------	---	------------------

## 工 事 調

(令和7年度)

(令和7年6月30日現在)

契約締結方法	受注者	着手完成(予定)年月日	支出済額	工事概要	公有財産台帳	摘要
随契				給水管配管工事 給水管保温工事 架台設置 既設配管撤去		令達R7.6.25

# 公 有 財 産 調

(令和6年度)

区 分	令和6年3月31日現在		増		減		令和7年3月31日現在		摘要
	数量又は 面 積	台帳価格	数量 又は 面積	台 帳 価 格	数量 又は 面積	台 帳 価 格	数量又は 面 積	台帳価格	
行政財産	/	千円 1,098,701	/	千円 28,454	/	千円 8,045	/	千円 1,119,110	
土 地	㎡ 24,682.69	千円 1,064,930					㎡ 24,682.69	千円 1,064,930	
立木竹	本 7	千円 256					本 7	千円 256	
建 物	建 ㎡ 6,291.87 延 12,266.28	千円 4,968				4,599	建 ㎡ 6,291.87 延 12,266.28	千円 369	
工作物	個 73	千円 28,547	5	28,454	4	3,446	個 74	千円 53,555	
普通財産	/	千円 16,500	/	0	/	0	/	千円 16,500	
土 地	㎡ 323.69	千円 16,500					㎡ 323.69	千円 16,500	
建 物	建 ㎡ 114.26 延 114.26	千円 0					建 ㎡ 114.26 延 114.26	千円 0	
公有財産 に準ずる もの	/	千円 92	/		/		/	千円 92	
電話加入権	件 5	千円 92					件 5	千円 92	

令和7年度中増減なし

## 借地借家等調

(令和7年6月30日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	借料		契約期間	所有者又は契約者氏名	用途
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	磐田市中泉2810-2外2筆	学校敷地	学校敷地	3,943.27 m <sup>2</sup>	円	無償	自 令7.4.1 至 令12.3.31	磐田市長	学校敷地
2	建物	事務所建	磐田市中泉2680-1	コンクリートブロック造平屋建		建 31.29 延 31.29 m <sup>2</sup>		無償	自 令7.4.1 至 令10.3.31	磐田西高等学校教育振興会長	水泳部室
3	建物	事務所建	磐田市中泉2687-1外	鉄筋コンクリート造2階建		建 110.73 延 191.69 m <sup>2</sup>		無償	自 令7.4.1 至 令10.3.31	磐田西高等学校教育振興会長	運動部室
4	建物	事務所建	磐田市中泉2680-1	鉄筋コンクリート造2階建		建 192.89 延 362.42 m <sup>2</sup>		無償	自 令7.4.1 至 令10.3.31	磐田西高等学校同窓会長	同窓会館
5	建物	雑屋建	磐田市中泉2810-1	木造平屋建		建 33.66 延 33.66 m <sup>2</sup>		無償	自 令7.4.1 至 令10.3.31	磐田西高等学校教育振興会長	女子更衣室
6	工作物	雑工作物	磐田市中泉2680-1	野球ベンチ		2 個		無償	自 令7.4.1 至 令12.3.31	磐田西高等学校教育振興会長	野球ベンチ
7	工作物	雑工作物	磐田市中泉2680-1	野球部器具庫		2 個		無償	自 令7.4.1 至 令12.3.31	磐田西高等学校教育振興会長	野球部器具庫
8	工作物	冷室装置	磐田市中泉2680-1	空調設備		1 個		2,163,418	自 令6.7.1 至 令19.6.30	NTT・TCリース(株)静岡支店	空調設備
9	工作物	冷室装置	磐田市中泉2680-1	空調設備		1 式		無償	自 令7.4.1 至 令12.3.31	磐田西高等学校教育振興会長	空調設備
10	工作物	冷室装置	磐田市中泉2680-1	空調設備		1 式		無償	自 令3.7.1 至 令7.3.31	磐田西高等学校空調設備設置事業実行委員会	空調設備
11	工作物	冷室装置	磐田市中泉2680-1	空調設備		1 式		無償	自 令6.4.1 至 令7.3.31	磐田西高等学校空調設備設置事業実行委員会	空調設備
計	土地 建物 工作物					3,943.27 m <sup>2</sup> 建 368.57 延 619.06 m <sup>2</sup> 8 個		2,163,418			

## 事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和7年度)

(令和7年6月30日現在)

区分	事業名又は契約名	内容	契約額	(契約額の年度別内訳)					
				令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
長期継続契約	電子複写機賃借契約	電子複写機 2台 事務室1台 印刷室1台  (契約日) 令和2年10月1日	円 2,985,840	円 298,584	円 597,168	円 597,168	円 597,168	円 597,168	円 298,584

# 行政財産貸付・使用許可調

(令和7年6月30日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量又は面積	貸付料又は使用料		貸付又は使用許可期間	貸付又は使用許可を受けた者の氏名	貸付・使用許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	磐田市中泉2680-1	学校敷地	学校敷地	m <sup>2</sup> 49.64	円 -	円 免除	令7.4.1 ) 令12.3.31	磐田西高等学校教育振興会長	水泳部室
2	土地	学校敷地	磐田市中泉2680-1	学校敷地	学校敷地	m <sup>2</sup> 60.72	円 -	円 免除	令7.4.1 ) 令12.3.31	磐田西高等学校教育振興会長	野球ベンチ
3	土地	学校敷地	磐田市中泉2680-1	学校敷地	学校敷地	m <sup>2</sup> 200.29	円 -	円 免除	令7.4.1 ) 令12.3.31	磐田西高等学校同窓会長	同窓会館
4	土地	学校敷地	磐田市中泉2680-1	学校敷地	学校敷地	電柱2本 支線柱3本 支線9条	円 1,500	円 21,000	令3.4.1 ) 令8.3.31	中部電力パワーグリッド(株)静岡支社 磐田営業所長	電柱等
5	土地	学校敷地	磐田市中泉2680-1	学校敷地	学校敷地	m <sup>2</sup> 0.59	円 -	円 免除	令7.4.1 ) 令12.3.31	磐田西高等学校教育振興会長	カーブミラー 2箇所
6	土地	学校敷地	磐田市中泉2680-1	学校敷地	学校敷地	m <sup>2</sup> 26.63	円 -	円 免除	令7.4.1 ) 令12.3.31	磐田西高等学校教育振興会長	野球部器具庫
7	土地	学校敷地	磐田市中泉2680-1	学校敷地	学校敷地	m <sup>2</sup> 1.31	円 -	円 免除	令5.4.1 ) 令10.3.31	西日本電信電話(株)静岡支店長	NTT架空電話ケーブル1本
8	建物	事務所建	磐田市中泉2680-1	鉄筋2階建		m <sup>2</sup> 4.32	円 -	円 免除	令6.4.1 ) 令9.3.31	磐田西高等学校PTA会長	パン販売所
9	土地 建物	学校敷地 事務所建	磐田市中泉2680-1	学校敷地	鉄筋4階建	m <sup>2</sup> 4.35 6.32	円 -	円 免除	令7.4.1 ) 令12.3.31	磐田西高等学校教育振興会長	空調設備
10	土地 建物	学校敷地 事務所建	磐田市中泉2680-1	学校敷地	鉄筋4階建	m <sup>2</sup> 8.05 3.30	円 -	円 免除	令5.4.1 ) 令8.3.31	磐田西高等学校教育振興会長	団体職員駐車場及び執務場所
11	土地 建物	学校敷地 事務所建	磐田市中泉2680-1	学校敷地	鉄筋2階建	m <sup>2</sup> 4.00 2.00	円 -	円 968,000	令7.4.1 ) 令10.3.31	コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株) 中部日本地区統括部浜松支店	飲料用自動販売機の設置
合計								989,000			

## 職員公舎管理状況調

(令和7年6月30日現在)

整理番号	所在地	建築年月	構造	管理戸(室)数 (A)	入居戸(室)数 (B)	Bの内他事務所職員入居戸(室)数	空家戸(室)数 (A-B)	摘要
1	磐田市見付 3568-1	S57.3	木造瓦葺 平屋建	1	0	0	1	校長住宅 空家 R5.3.1
	計			1	0	0	1	

# 備品・図書調

(令和 6年度)

区分	令和 6年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 3月31日 現在
		数量	購入価格 (円)	数量	売却価格 (円)	
01-01 机類	11	( 0) 0	0	( 0) 0	0	11
01-02 台類	40	( 0) 0	0	( 0) 0	0	40
01-03 いす類	13	( 0) 0	0	( 0) 0	0	13
01-04 収納保管庫類	41	( 0) 0	0	( 0) 0	0	41
01-05 印刷機器類	3	( 0) 0	0	( 0) 1	0	2
01-07 書類整理器具類	7	( 0) 0	0	( 0) 0	0	7
01-10 印判類	5	( 0) 0	0	( 0) 0	0	5
01-13 厨房器具類	5	( 0) 1	148,500	( 0) 1	0	5
01-14 冷暖房器具類	7	( 0) 0	0	( 0) 0	0	7
01-17 洗濯機	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
01-99 その他の庁用器具類	19	( 0) 0	0	( 0) 0	0	19
02-01 情報処理機器類	321	( 0) 28	9,657,230	( 0) 0	0	349
02-02 情報伝達機器類	8	( 0) 0	0	( 0) 0	0	8
02-03 再生機器類	4	( 0) 0	0	( 0) 0	0	4
03-01 撮影機器類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
03-02 観察・観測用光学機器類	2	( 0) 0	0	( 0) 0	0	2
03-03 視覚用再生等機器類	11	( 0) 0	0	( 0) 0	0	11
04-02 衛生検査用機器類	2	( 0) 1	220,000	( 0) 1	0	2
04-99 その他の医療衛生機器類	2	( 0) 0	0	( 0) 0	0	2

# 備品・図書調

(令和 6年度)

区 分	令和 6年 3月31日 現在	増		減		令和 7年 3月31日 現在
		数 量	購 入 価 格 (円)	数 量	売 却 価 格 (円)	
05-04 分析化学機器類	3	( 0) 0	0	( 0) 0	0	3
05-08 度量衡測定機器類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
05-09 天体気象観測機器類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
05-99 その他の試験計測機器類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
06-04 電気電子機器類	4	( 0) 0	0	( 0) 0	0	4
06-09 木工用機器類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
06-99 その他の諸機器類	2	( 0) 0	0	( 0) 0	0	2
10-03 社会用器具類	3	( 0) 0	0	( 0) 0	0	3
10-05 生物物理化学用器具類	20	( 0) 1	148,280	( 0) 0	0	21
10-06 家庭科用器具類	11	( 0) 0	0	( 0) 0	0	11
10-07 音楽用器具類	5	( 0) 0	0	( 0) 0	0	5
10-08 芸術用器具類	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
10-12 体育保健用器具類	9	( 0) 0	0	( 0) 0	0	9
12-01 雑機器	1	( 0) 0	0	( 0) 0	0	1
50-01 図書	8	( 0) 0	0	( 0) 0	0	8
計	574	( 0) 31	10,174,010	( 0) 3	0	602

令和 7 年度中増減なし

# 主 要 備 品 調

(令和7年6月30日現在)

整理 番号	区分		品名・規格	利用状況	購入年月	購入金額 (円)
	大・中	小				
1	2-1	パーソナルコンピュータ (一式)	総合実践装置 データ処理用機器	週8回(年間80日) 総合実践の授業で使用	令和4年2月	19,679,000
2	2-1	パーソナルコンピュータ (一式)	情報基礎実習装置 ESPRIMO D586/P	週14回(年間240日) ビジネス情報ほか授業・部活	平成29年2月	10,368,000
3	2-1	パーソナルコンピュータ (一式)	情報応用実習装置	週14回(年間240日) ビジネス情報ほか授業・部活	令和7年3月	9,460,000
4	2-1	パーソナルコンピュータ (一式)	情報応用実習装置 PYT1321T2S	週20回(年間240日) ビジネス情報ほか授業・部活	平成28年2月	8,689,140
5	2-1	パーソナルコンピュータ (一式)	ICT環境整備機器一式	週24回(年間195日) 普通科情報ほか授業	平成30年3月	4,989,276
6	3-3	プロジェクター	ICT活用事業プロジェクター マクセル	常時(年間120日) 普通教室常設	令和3年3月	4,207,500
7	2-1	パーソナルコンピュータ (一式)	ICT活用事業タブレット Apple	週5回(年間240日) 生徒貸与用	令和3年3月	3,808,217
8	1-14	エアコンディショナー	天吊型 ガスヒートポンプ式	夏期・冬期(年間100日) 機器保守	平成8年3月	3,088,970
9	1-1	平机	1800W*850D*670H	週6回(年間195日) 情報処理ほか授業・部活動	平成8年3月	2,247,357
10	1-1	平机	1800W*850D*670H	週14回(年間240日) 文書デザインほか授業・部活	平成9年3月	1,836,696
11	1-1	平机	1800W*850D*670H	週20回(年間240日) ビジネス情報ほか授業・部活	平成9年2月	1,836,696
12	2-1	パーソナルコンピュータ (一式)	情報応用実習装置 追加整備品PX-9500N	週20回(年間240日) 文書デザインほか授業・部活	平成20年3月	1,380,162
13	1-99	その他の庁用器具	斜降式救助袋	常時 火災時の避難及び避難訓練	平成29年3月	1,374,840
14	10-12	トレーニング用器具	レッグカール&エクステンション マシン・BA-2113	週5回(年間240日) 生徒体力づくり	平成元年12月	1,107,250
15	2-3	その他の再生機器	視聴覚装置 PFM-42X1	年50回程度(年間50日) 総合実践授業	平成16年12月	1,013,250
16	1-14	エアコンディショナー	天吊型 ガスヒートポンプ式	夏期・冬期(年間100日) 機器保守	平成9年3月	1,004,250
17	1-14	エアコンディショナー	天吊型 ガスヒートポンプ式	夏期・冬期(年間100日) 機器保守	平成9年3月	1,004,250
18	1-4	戸棚	木製楽器戸棚 7660*1000*1900	常時 楽器保管	平成元年3月	975,100
19	2-2	放送装置	放送装置 WL-SA122/SA-101	週5回(年間195日) 校内放送	平成15年3月	971,250
20	10-12	トレーニング用機器	バタフライ&ローイングマシン BA2413	週5回(年間240日) 生徒体力づくり	平成元年12月	952,750

## 職 員 調

(令和7年6月30日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	校長	西村 智子		□ □ □	□年□月	□□□
2	副校長	中村 都史彦		□ □ □	□年□月	□□□
3	教頭	高森 裕之	地歴公民	□ □ □	□年□月	□□□
4	事務長	大場 治子		□ □ □	□年□月	□□□
5	教諭	杉浦 嘉彦	商業(総合ビジネス科)	□ □ □	□年□月	□□□
6	教諭	萩田 孝子	英語	□ □ □	□年□月	□□□
7	教諭	村上 浩	理科	□ □ □	□年□月	□□□
8	教諭	松田 徹	理科	□ □ □	□年□月	□□□
9	教諭	藤澤 俊彦	理科	□ □ □	□年□月	□□□
10	教諭	鈴木 登志子	家庭	□ □ □	□年□月	□□□
11	教諭	松永 行弘	商業(総合ビジネス科)	□ □ □	□年□月	□□□
12	教諭	宮崎 剛	英語	□ □ □	□年□月	□□□
13	教諭	山本 美穂子	商業(総合ビジネス科)	□ □ □	□年□月	□□□
14	教諭	浜浦 麻里子	英語	□ □ □	□年□月	□□□
15	教諭	小澤 光弘	数学	□ □ □	□年□月	□□□
	教諭	田中 修一	数学	□ □ □	□年□月	□□□
17	教諭	佐藤 淳	地歴公民	□ □ □	□年□月	□□□
18	教諭	堀内 光	地歴公民	□ □ □	□年□月	□□□
19	教諭	青嶋 祐介	商業(総合ビジネス科)	□ □ □	□年□月	□□□
20	教諭	大村 愛	地歴公民	□ □ □	□年□月	□□□
21	教諭	古田 敦久	地歴公民	□ □ □	□年□月	□□□
22	教諭	谷本 和優	数学	□ □ □	□年□月	□□□
23	教諭	金子 良隆	理科	□ □ □	□年□月	□□□
24	教諭	伊藤 美奈	英語	□ □ □	□年□月	□□□
25	教諭	大橋 美香	英語	□ □ □	□年□月	□□□

整理 番号	職 名	氏 名	事務分担	住 所	勤務年数	摘 要
26	教 諭	堰 澤 明 正	数 学	□ □ □	□年□月	□□□
27	教 諭	吉 川 ゆかり	国 語	□ □ □	□年□月	□□□
28	教 諭	佐 藤 薫	地 歴 公 民	□ □ □	□年□月	□□□
29	教 諭	長谷川 香奈江	国 語	□ □ □	□年□月	□□□
30	教 諭	丸 尾 徹 也	商業(総合ビジ ネ ス 科)	□ □ □	□年□月	□□□
31	教 諭	青 野 武 志	保 健 体 育	□ □ □	□年□月	□□□
32	教 諭	鈴 木 杏 菜	英 語	□ □ □	□年□月	□□□
33	教 諭	夏 目 佑 麻	理 科	□ □ □	□年□月	□□□
34	教 諭	菊 池 竜 平	保 健 体 育	□ □ □	□年□月	□□□
35	教 諭	大 久 保 翔 悟	保 健 体 育	□ □ □	□年□月	□□□
36	教 諭	伊 藤 仁	保 健 体 育	□ □ □	□年□月	□□□
37	教 諭	山 口 遼 太	保 健 体 育	□ □ □	□年□月	□□□
38	教 諭	朝 比 奈 恒 介	商業(総合ビジ ネ ス 科)	□ □ □	□年□月	□□□
39	教 諭	井 島 菜 穂	国 語	□ □ □	□年□月	□□□
40	教 諭	竹 中 信	数 学	□ □ □	□年□月	□□□
41	教 諭	川 名 陽 奈 子	英 語	□ □ □	□年□月	□□□
42	教 諭	高 橋 洋 貴	国 語	□ □ □	□年□月	□□□
43	教 諭	内 藤 真 琴	国 語	□ □ □	□年□月	□□□
44	教諭(実)	戸 塚 正 枝	商業(総合ビジ ネ ス 科)	□ □ □	□年□月	□□□
45	養護教諭	小 澤 絵 美 理	養 護	□ □ □	□年□月	□□□
46	主 任 実習助手	堀 内 美 都	理 科	□ □ □	□年□月	□□□
47	実習助手	石 田 藍 里	商業(総合ビジ ネ ス 科)	□ □ □	□年□月	□□□
48	主 査	松 村 美 和	会 計 ・ 庶 務	□ □ □	□年□月	□□□
49	主 査	文 成 義 国	管 財 ・ 庶 務	□ □ □	□年□月	□□□
50	主 事	村 松 龍 平	庶 務 ・ 会 計	□ □ □	□年□月	□□□
51	技能長	村 上 良 一	用 務	□ □ □	□年□月	□□□
	平均勤続年数				3年1月	

(令和7年6月30日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	外国語指導講師	シヨーン・オブライエン	英語	□□□	□年□月	
2	非常勤講師	濱田 由紀子	国語	□□□	□年□月	□□□
3	非常勤講師	岡安 秀夫	理科	□□□	□年□月	□□□
4	非常勤講師	大谷 治男	商業	□□□	□年□月	□□□
5	非常勤講師	山下 裕利	商業	□□□	□年□月	□□□
6	非常勤講師	染葉 亮子	音楽	□□□	□年□月	□□□
7	非常勤講師	杉下 真理子	美術	□□□	□年□月	□□□
8	非常勤講師	金原 里恵	書道	□□□	□年□月	□□□
9	非常勤労務職員	永岡 繁	用務	□□□	□年□月	
10	非常勤労務職員	小清水 亮	用務	□□□	□年□月	
11	部活動指導員	鈴木 昭司	剣道	□□□	□年□月	
12	学校医	鈴木 恒夫	内科	□□□	□年□月	□□□
13	学校医	山下 直己	眼科	□□□	□年□月	□□□
14	学校医	袴田 桂	耳鼻科	□□□	□年□月	□□□
15	学校歯科医	山口 貴弘	歯科	□□□	□年□月	□□□
16	健康管理医	鈴木 恒夫	職員健康管理	□□□	□年□月	□□□
17	学校薬剤師	波川 瞬	学校薬剤師	□□□	□年□月	□□□

## 職員の年齢調

(令和7年6月30日現在)

年齢	人員	摘要
20歳未満	0	
20歳以上30歳未満	6	
30歳以上40歳未満	10	
40歳以上50歳未満	9	
50歳以上56歳未満	15	
56歳以上61歳未満	6	
61歳以上	5	再任用職員(4人)
計	51	平均年齢 46歳8月

## 健康管理

### 1 前年度受診状況

区 分	内 容
受 診 状 況	受診者数 54人 職員数 54人
受 診 率	100%
県平均受診率	100%

(1) 未受診の理由

—

### 2 本年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人 数
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		人
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要 治 療	人
B 2		要経過観察	人
C 1	勤務をほぼ平常に行っておりが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要 治 療	人
C 2		要経過観察	人
D 1		要 治 療	17(17)人
D 2	平常の勤務でよい。	要経過観察	6(6)人
D 3		医 療 不 要	27(27)人
区 分 者 計			0人
未区分者数			1人
合 計			51人

(1) 管理区分A～C2該当者  
に対する措置状況

—

(2) 未区分の理由

ア □□□□ 人  
イ □□□□ 1人  
ウ □□□□ 人  
エ □□□□ ( ) 人